

2 [施策②] 沿道修景美化推進路線の

修景コンセプトと整備・維持管理方針の設定

沿道修景美化推進路線について、その地域の特徴や周辺の自然景観等を踏まえ、各路線、または特徴や条件が一致する路線のグループにおける、今後の修景の目標像を示す「修景コンセプト」と、修景コンセプトに基づいた今後の整備や維持管理における具体的な対応方針を示す「整備・維持管理方針」を設定します。

表5：修景コンセプト別沿道修景美化推進路線一覧表

番号	路線名	管理エリア	ページ
1	国道10号（大分県境～延岡市）、国道326号	延岡	22 ～ 25
2	国道388号（延岡市北浦町～延岡市街地）	延岡	26 ～ 29
3	国道218号、国道325号、 県道北方高千穂線、県道土生高千穂線	延岡、 西臼杵	30 ～ 35
4	国道10号（延岡市～日向市）、 県道日知屋財光寺線	日向	36 ～ 39
5	国道327号（日向市～椎葉村）	東臼杵	40 ～ 43
6	国道10号（都農町～宮崎市）	高鍋	44 ～ 47
7	国道219号、県道西都原古墳線	西都、宮崎	48 ～ 51
8	国道220号、国道448号、 県道内海加江田線、県道都井岬線	宮崎、日南 、串間	52 ～ 60
9	国道222号（日南市～都城市）	日南	61 ～ 64
10	県道宮崎空港線、県道宮崎停車場線、 県道宮崎島之内線、県道宮崎インター佐土原線	宮崎	65 ～ 70
11	国道10号（宮崎市～鹿児島県境）、 国道269号（鹿児島県境～宮崎市）	高岡、都城	71 ～ 76
12	国道221号（熊本県境～都城市）	都城、小林	77 ～ 80
13	国道268号（鹿児島県境～宮崎市高岡町）	高岡、小林	81 ～ 85
14	国道223号、県道小林えびの高原牧園線、 県道えびの高原小田線	小林	86 ～ 90
15	県道都城霧島公園線	都城	91 ～ 94
16	県道宮崎須木線	宮崎、高岡	95 ～ 98
17	県道延岡インター線	延岡	99 ～100
18	国道327号日向バイパス	日向	101 ～102
19	ひむか神話街道	県全域	103 ～105

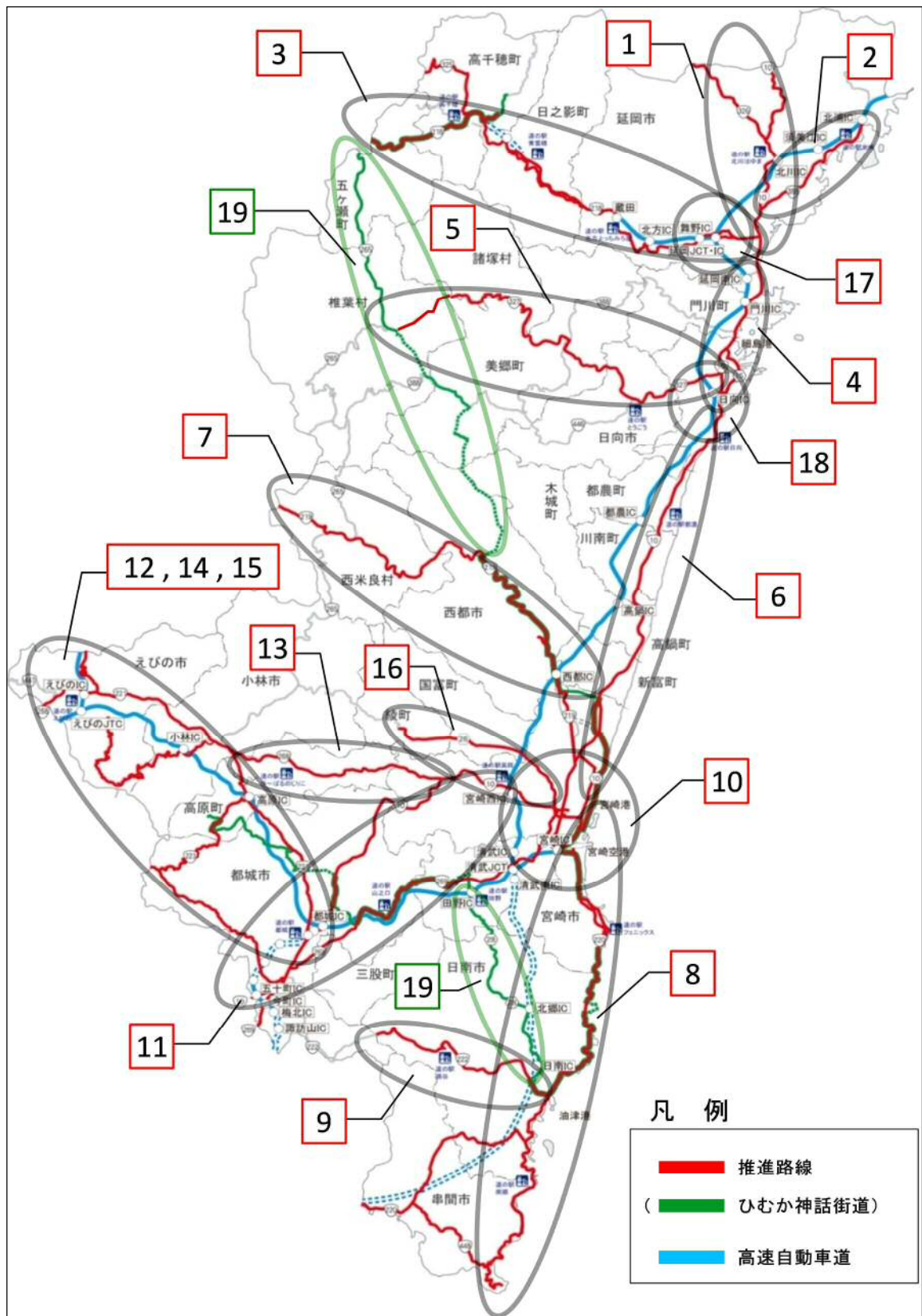


図 13 : 修景コンセプト別沿道修景美化推進路線図

○推進路線個別表

(1/4)

番号	1	路線名	国道10号(大分県境～延岡市)、国道326号
----	---	-----	------------------------

路線概要

<国道10号(大分県境～延岡市街)>、<国道326号>

本県と大分県を連絡する幹線道路で、県境部付近では宗太郎峠や三国峠に代表されるような険しい地形を呈しており、そこに北川水系が沿うように流れている。

延岡市街地に入ると、市街地東部を縦断する幹線道路として日向市方面へ連絡している。両路線とも、東九州自動車道大分～宮崎間が開通した後は、交通量は減少傾向にある。

指定地区等位置図



① 植栽地区（鎧・国道10号）



⑤ 自然景観地区（北川渓谷・国道10号）



⑥ 自然景観地区（長井・田園風景・国道10号）

<国道10号（大分県境～延岡市）>

- ・除草 : 年2～3回
- ・寄植剪定・施肥・防除 : 年1回
- ・樹木剪定・施肥・防除 : 年1回

<国道326号>

- ・除草 : 年2回
- ・寄植剪定・施肥・防除 : 年1回
- ・樹木剪定・施肥・防除 : 年1回

※国道10号は県管理区間における管理状況を示す

○推進路線個別表

(2/4)

番号	1	路線名	国道10号(大分県境～延岡市)、国道326号
----	---	-----	------------------------

指定地区等一覧

・沿道修景植栽地区

路線名	番号	名称	位置	修景用植物の種類 【指定時】	植栽延長(m) 【現況】			指定 年月
					左側	右側	合計	
国道10号	①	鏡	延岡市北川町鏡地内	ピラカンサ・アジサイ・サルスベリほか	350	0	350	S53.7
国道10号	②	市棚	延岡市北川町川内名市棚地内	サザンカ	600	0	600	S51.7
国道10号	③	熊田	延岡市北川町川内名熊田地内	サザンカ	450	150	600	S51.7
国道10号	④	長井	延岡市北川町長井俣野地内 飛石地内	パンパスグラス	2,200	700	2,900	S49.7

・沿道自然景観地区

路線名	番号	名称	区域	面積 (ha)	特徴	指定 年月
国道10号	⑤	北川渓谷	延岡市北川町川内名葛葉鏡の一部	12.50	渓谷と 広葉樹林	S45.2
国道10号	⑥	長井	延岡市北川町長井字本村の一部	20.00	田園風景 と河川美	S45.2

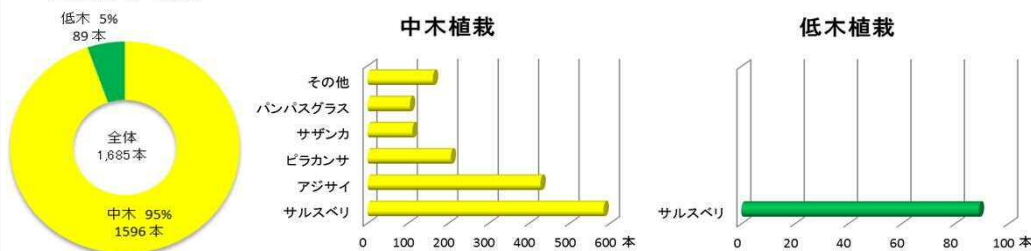
・沿道修景指定樹木

路線名	番号	樹種	位置	本数	指定 要旨	指定 年月
国道10号	⑦	エノキ	延岡市北川町長井字飛石竹瀬地内	7	並木美	S45.2

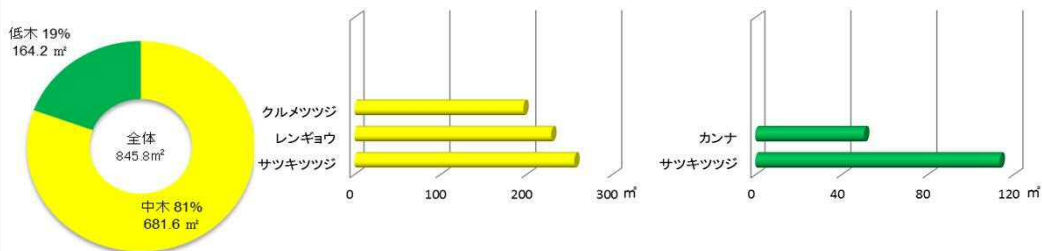
植栽花木現況一覧

※国道10号は県管理区間における植栽状況を示す

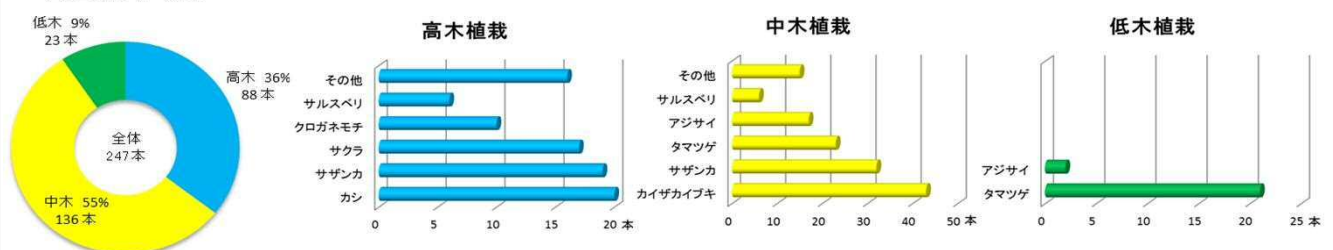
国道10号 樹木



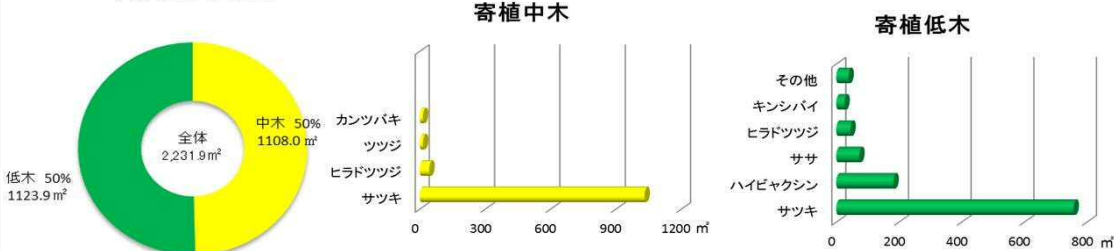
国道10号 寄植



国道326号 樹木



国道326号 寄植



番号	1	路線名	国道10号(大分県境～延岡市)、国道326号
----	---	-----	------------------------

修景コンセプト

「豊かな山々と清流北川に包まれた、自然の緑と調和した道路修景」

国道10号、国道326号は、豊かな河畔林と瀬や淵の連続した美しい河川空間を形成する北川と、それを取り巻く豊かな山々との自然風景、そして地域の営みが創り出す田園風景を有する区間となっている。

そこで、これらの固有の風景の道路からの眺望を確保し、通行する自動車の目線から沿道の景観を楽しむことのできる区間として、整備と維持管理を行う。

路線における現状・課題

(現状・課題1)

- ・東九州自動車道の開通に伴い、交通量は減少傾向にあるが、沿線住民等にとっての宮崎県～大分県を往来する生活道路としての機能は維持されている。
- ・東九州自動車道の開通に伴い、道の駅北川はゆま及び北川ICが、新たな交通の玄関口として機能している。

(現状・課題2)

- ・北川ICが交通の玄関口として機能していることにより、東九州自動車道の開通後も、国道10号の北川IC～延岡市街地の区間では一定の交通量が維持されている。

(現状・課題3)

- ・自然景観地区や、北川や田園の風景が眺望できる開放的な区間において、植栽の生長や自然の草木の繁茂により、眺望が阻害されている。

(現状・課題4)

- ・寄植の生長や繁茂により、交通安全上の懸念を生じる恐れがある。
- ・停車帯等の寄植が、ゴミの不法投棄の温床となっている。

番号	1	路線名	国道10号(大分県境～延岡市)、国道326号
----	---	-----	------------------------

整備・維持管理方針

(現状・課題1への対応)

1. 県境部及び道の駅北川はゆま周辺については、交通の玄関口として、植栽地区の新設またはリニューアル整備を行い、その後は美しい景観を保つ維持管理を行う。

(現状・課題2への対応)

2. 国道10号の道の駅北川はゆま～延岡市街地の区間については、交通安全上の懸念を生じる恐れのある植栽は撤去するとともに、それ以外の植栽については現状と同水準の維持管理を行う。

(現状・課題3への対応)

3. 北川や田園の風景が眺望できる開放的な区間については、その眺望を妨げないための除草や伐開、及び植栽の撤去を行い、その後は美しい眺望を保つ維持管理を行う。

(現状・課題4への対応)

4. 上記以外の区間については、植栽の撤去や間引きなど、植栽内容の全般的な見直しを行い、その後の維持管理の効率化を図る。

(整備・維持管理方針に基づく対応の例)

1. の対応例 (国道10号)



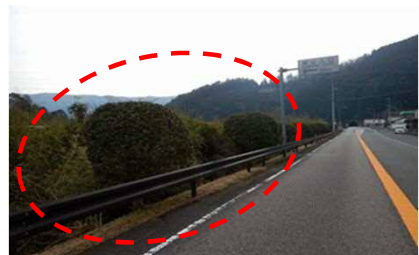
玄関口としてのリニューアル整備を行う

2. の対応例 (国道10号)



現状と同水準の維持管理を行う

3. の対応例 (国道10号)



間引きを行い眺望を確保する

4. の対応例 (国道326号)



寄植を撤去し芝生等への植替えを行う

4. の対応例 (国道326号)



寄植を撤去し芝生等への植替えを行う

4. の対応例 (国道10号)



植栽帯を撤去し歩道にする

○推進路線個別表

(1/4)

番号	2	路線名	国道388号（延岡市北浦町～延岡市街地）
----	---	-----	----------------------

路線概要

<国道388号（延岡市北浦町～延岡市街地）>

延岡市から北浦地区を経て大分県へ連絡する路線で、県境部付近では坂道とカーブが連続した険しい山越えの区間となっている。

日豊海岸国定公園内のリアス式海岸地形を抜ける路線であるが、その大部分は深い山々の中を通過する山間部区間となっている。

東九州自動車道の宮崎～大分間が開通した後は、交通量は減少傾向にある。

指定地区等位置図



① 植栽地区（川島・国道388号）



① 植栽地区（川島・国道388号）



① 植栽地区（浦城・国道388号）

<国道388号>

- ・ 除 草 : 年2回
- ・ 寄植剪定・施肥・防除 : 年2回
- ・ 樹木剪定・施肥・防除 : 年1回

○推進路線個別表

(2/4)

番号	2	路線名	国道388号（延岡市北浦町～延岡市街地）
----	---	-----	----------------------

指定地区等一覧

・沿道修景植栽地区

路線名	番号	名称	位置	修景用植物の種類 【指定時】	植栽延長(m) 【指定時】			植栽延長(m) 【現況】			指定年月
					左側	右側	合計	左側	右側	合計	
国道388号	①	日之影ハイパス	延岡市川島地内 // 浦城地内 // 北川町長谷地内	ソメイヨシノ・サカキ カスミ・リ・アザミ ササ ほか	6,000	6,000	12,000	5,300	5,300	10,600	S54.7

・沿道自然景観地区

なし

・沿道修景指定樹木

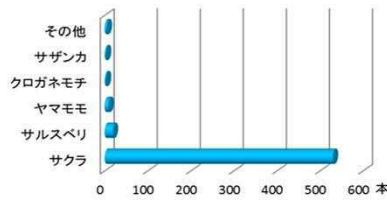
なし

植栽花木現況一覧

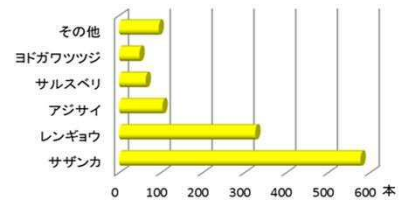
国道388号 樹木



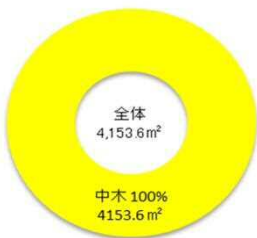
高木植栽



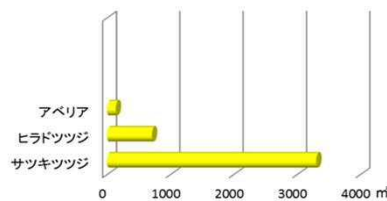
中木植栽



国道388号 寄植



寄植中木



番号

2

路線名

国道388号（延岡市北浦町～延岡市街地）

修景コンセプト

「日豊海岸や山の緑と調和した、サクラの回廊が創り出す道路修景」

春のサクラ、初夏のサツキ、冬から春にかけてのサザンカと、四季を通じた花の彩りが沿道の魅力の一つとなっている路線であるが、一部で樹木の老木化や高木化が進み、また、生長や繁茂による植栽間隔の過密化といった状況も生じてきている。

そこで、これまで歳月をかけ育ててきた修景木が、山々の緑と健全な状態で調和する適切な配置となるよう見直しを行い、通行する自動車の目線から四季の花の彩りを楽しむことのできる区間として、整備と維持管理を行う。

路線における現状・課題

（現状・課題1）

- ・東九州自動車道の開通により交通量は減少傾向にあるものの、沿線には日豊海岸国立公園の自然の景勝地や、道の駅北浦等の観光地が存在しており、観光ルートとしての機能を維持している。
- ・東九州自動車道の北浦IC、及び須美江ICは、沿線の観光地等へ向かう観光客にとっての玄関口として機能している。

（現状・課題2）

- ・植栽地区周辺では、サクラやサツキ、サザンカ等の植栽が沿道の魅力の一つとなっているが、植栽樹木の老木化や生長に伴う交通安全上の懸念や過密化、樹姿の悪化等が生じている。

（現状・課題3）

- ・寄植の生長や繁茂により、交通安全上の懸念を生じる恐れがある。
- ・植栽樹木の高木化や老木化により、過密化や樹姿の悪化、倒木や落枝の懸念、維持管理上の支障等が生じている。

番号	2	路線名	国道388号（延岡市北浦町～延岡市街地）
----	---	-----	----------------------

整備・維持管理方針

（現状・課題1への対応）

1. 北浦IC、須美江IC、及び道の駅北浦周辺については、交通の玄関口及び観光地周辺の道路として、除草や樹木の剪定等を徹底し、美しい景観を保つ維持管理を行う。

（現状・課題2への対応）

2. 植栽地区周辺については、老木化が見られるサクラについて、その健全性について評価し、必要に応じて間引きや撤去、植替えを行うとともに、それ以外の植栽については、植物の特性に配慮し周辺景観と調和した配置・間隔となるよう間引きや切戻し等を行い、その後は美しい景観を保つ維持管理を行う。

（現状・課題3への対応）

3. 上記以外の区間については、植栽の撤去や間引きなど、植栽内容の全般的な見直しを行い、その後の維持管理の効率化を図る。

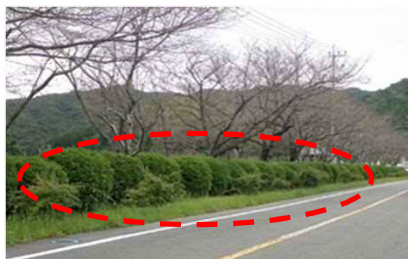
（整備・維持管理方針に基づく対応の例）

2. の対応例（国道388号）



間引きや植替えを行う

2. の対応例（国道388号）



間引きや切戻しを行う

2. の対応例（国道388号）



撤去や間引き、切戻しを行う

3. の対応例（国道388号）



撤去や間引きを行う

○推進路線個別表

(1/6)

番号	3	路線名	国道218号、国道325号、 県道北方高千穂線、県道土生高千穂線
----	---	-----	-------------------------------------

路線概要

＜国道218号、国道325号＞
 本県と熊本県を連絡する路線で、地域の暮らしや物流を支える主要路線として機能しており、最近ではバイパス区間の整備により交通量も増加している。

国道218号の五ヶ瀬町～延岡市北方町の区間は、五ヶ瀬川の深い渓谷と、豊かな山々が織りなす自然のパノラマに囲まれた区間であり、平成27年12月に認定された世界農業遺産の高千穂郷・椎葉山地域を構成する、棚田等の里山の農村風景といった景観も有している。

＜県道北方高千穂線、県道土生高千穂線＞
 県道北方高千穂線の日之影町～延岡市北方町の区間は、旧国道218号として、バイパスが整備されるまでは地域の主要路線であったが、現在は交通量は減少している。五ヶ瀬川が県道に沿うように流れており、清流と豊かな緑が織りなす自然景観が特徴である。

高千穂町市街地周辺の区間では、県道土生高千穂線とともに、地域内における観光ルートの一つとして機能している。

指定地区等位置図



② 植栽地区（岡本・国道218号）



④ 自然景観地区（五ヶ瀬渓谷・県道北方高千穂線）



⑤ 自然景観地区（日之影渓谷・県道北方高千穂線）

＜国道218号＞

- ・ 除 草 : 年2回
- ・ 寄植剪定・施肥・防除 : 年1～2回
- ・ 樹木剪定・施肥・防除 : 年1回

＜国道325号＞＜県道北方高千穂線＞
 ＜県道土生高千穂線＞

- ・ 除 草 : 年2回
- ・ 寄植剪定・施肥・防除 : 年2回
- ・ 樹木剪定・施肥・防除 : 年1回

○推進路線個別表

(2/6)

番号	3	路線名	国道218号、国道325号、 県道北方高千穂線、県道土生高千穂線
----	---	-----	-------------------------------------

指定地区等一覧

・沿道修景植栽地区

路線名	番号	名称	位置	修景用植物の種類 【指定時】	植栽延長(m) 【指定時】			植栽延長(m) 【現況】			指定 年月
					左側	右側	合計	左側	右側	合計	
国道218号	①	日之影 バイパス	東臼杵郡日之影町 大字七折深角地内	ツバキ・ササギ・サルスベリ ・カンキョウ	534	712	1,246	534	712	1,246	S51.7
国道218号	②	貝の畑 細見・ 岡元	延岡市貝の畑町地内 // 細身町地内 // 岡元町地内	ツバキ・ササギ・サルスベリ ほか	1,552	981	2,533	1,552	981	2,533	S61.2
国道218号	③	北小路 小峰	延岡市北小路地内 // 小峰地内	ハナガサ	0	3,500	3,500	0	3,500	3,500	S48.5

・沿道自然景観地区

路線名	番号	名称	区域	面積 (ha)	特徴	指定 年月	市町村名
(一) 北方 高千穂線	④	五ヶ瀬溪谷	西臼杵郡高千穂町大字向山の一部 西臼杵郡日之影町大字七折の一部	50.00	溪谷美	S45.2	日之影町
(一) 北方 高千穂線	⑤	日之影溪谷	西臼杵郡日之影町大字七折の一部 西臼杵郡日之影町大字岩井川の一部	46.30	溪谷美	S45.2	日之影町

・沿道修景指定樹木

路線名	番号	樹種	位置	本数	指定 要旨	指定 年月	状況	備考
国道218号	⑥	カ	西臼杵郡日之影町高巣野地内	1	樹姿美	S52.6		
国道218号	⑦	カ	西臼杵郡日之影町大字七折字松崎地内	1	樹姿美	S61.2		現) 北方高千穂線
国道218号	⑧	カ	西臼杵郡日之影町大字七折字八戸地内	1	樹姿美	S61.2		現) 北方高千穂線
国道218号	⑨	カ・ク	延岡市高野町地内	3	古木	S45.2		
国道218号	⑩	カ	延岡市松山町地内	2	古木	S47.6	H20 年 1本解除	

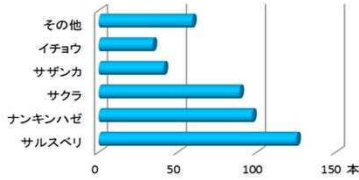
番号	3	路線名	国道218号、国道325号、 県道北方高千穂線、県道土生高千穂線
----	---	-----	-------------------------------------

植栽花木現況一覧

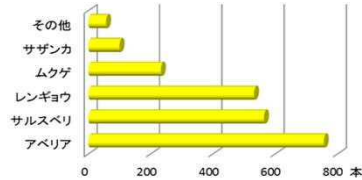
国道218号 樹木



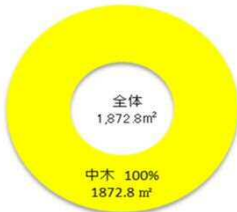
高木植栽



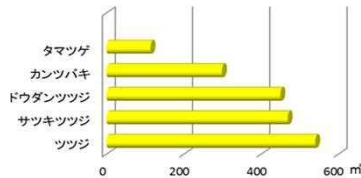
中木植栽



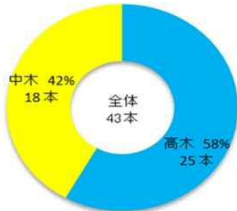
国道218号 寄植



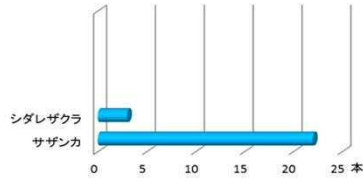
寄植中木



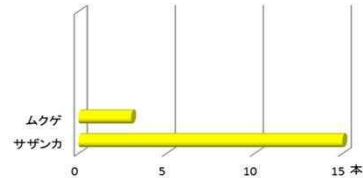
国道325号 樹木



高木植栽



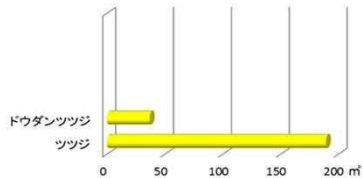
中木植栽



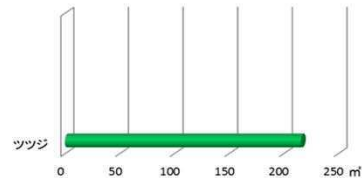
国道325号 寄植



寄植中木



寄植低木



○推進路線個別表

(4/6)

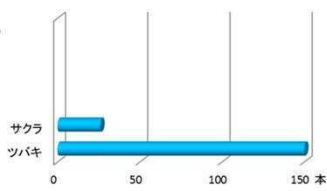
番号	3	路線名	国道218号、国道325号、 県道北方高千穂線、県道土生高千穂線
----	---	-----	-------------------------------------

植栽花木現況一覧

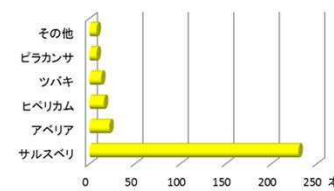
北方高千穂線 樹木



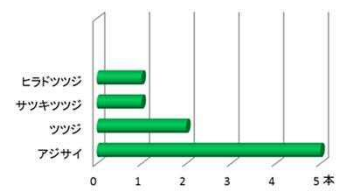
高木植栽



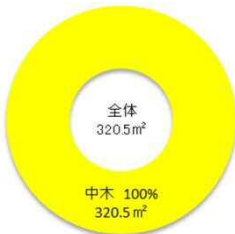
中木植栽



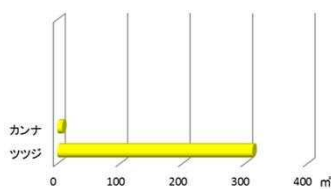
低木植栽



北方高千穂線 寄植



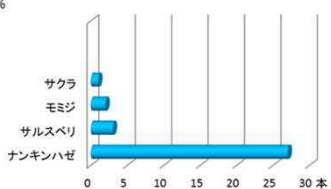
寄植中木



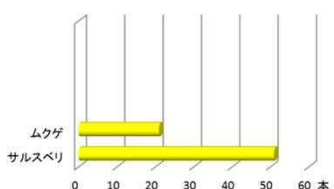
北方高千穂線 樹木



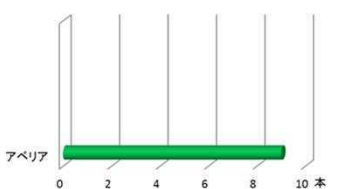
高木植栽



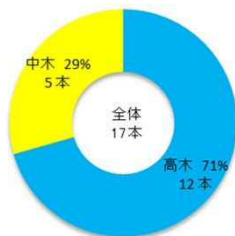
中木植栽



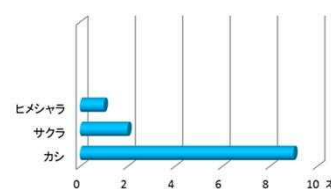
低木植栽



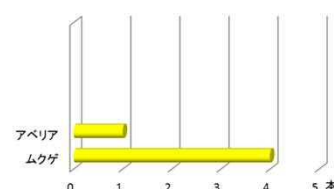
土生高千穂線 樹木



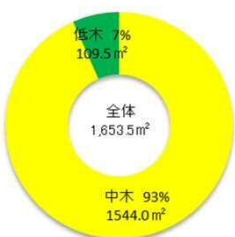
高木植栽



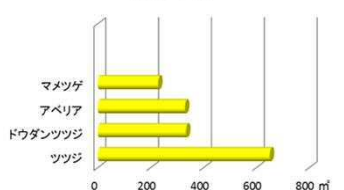
中木植栽



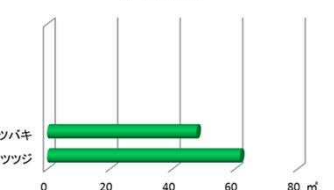
土生高千穂線 寄植



寄植中木



寄植低木



番号	3	路線名	国道218号、国道325号、 県道北方高千穂線、県道土生高千穂線
修景コンセプト		<p data-bbox="236 360 1294 443">「深く刻まれた溪谷と祖母傾山系の雄大な山々が育んできた 風土と歴史に調和した、神話の地へ誘う道路修景」</p> <p data-bbox="156 465 1422 589">大地に刻まれた深い溪谷と、視界に広がる空と雄大な山々のパノラマが織りなすダイナミックな自然景観を背景に、神楽や天孫降臨伝説、世界農業遺産にも選ばれた棚田や里山等の、地域固有の風土・文化が息づく伝統的な営みの風景を有する区間となっている。</p> <p data-bbox="156 640 1453 763">そこで、これらの固有の風景の道路からの眺望を確保し、<u>通行する自動車の目線から沿道の風景を楽しむことのできる区間</u>として、及び、県を代表する観光地「<u>高千穂</u>」へと誘う、<u>観光地のイメージと調和した修景を行う区間</u>として、整備と維持管理を行う。</p>	
路線における現状・課題			
<p data-bbox="150 958 363 994">(現状・課題1)</p> <ul data-bbox="165 1003 1422 1249" style="list-style-type: none"> ・国道218号は、地域の暮らしや物流を支える幹線道路であるとともに、周辺の路線と連絡することで、高千穂周辺の観光地へとつながる区間として機能しており、宮崎県側と熊本県側の両方から多くの観光客が利用する観光ルートとなっている。 ・東九州自動車道の開通や北方延岡道路の整備等により、国道218号の交通量は増加傾向にある。 <p data-bbox="150 1346 363 1382">(現状・課題2)</p> <ul data-bbox="165 1391 1453 1469" style="list-style-type: none"> ・自然景観地区や、深い溪谷と雄大な山並み、棚田や里山の風景が眺望できる開放的な区間において、植栽樹木の生長や自然の草木の繁茂により、眺望が阻害されている。 <p data-bbox="150 1565 363 1601">(現状・課題3)</p> <ul data-bbox="165 1610 1422 1733" style="list-style-type: none"> ・寄植の生長や繁茂により、交通安全上の懸念を生じる恐れがある。 ・植栽樹木の高木化や老木化により、過密化や樹姿の悪化、倒木や落枝の懸念、維持管理上の支障等が生じている。 			

番号	3	路線名	国道218号、国道325号、 県道北方高千穂線、県道土生高千穂線
----	---	-----	-------------------------------------

整備・維持管理方針

(現状・課題1への対応)

1. 県境部及び高千穂の観光地周辺については、交通の玄関口及び観光地周辺の道路として、植栽地区の新設またはリニューアル整備を行い、その後は美しい景観を保つ維持管理を行う。

(現状・課題2への対応)

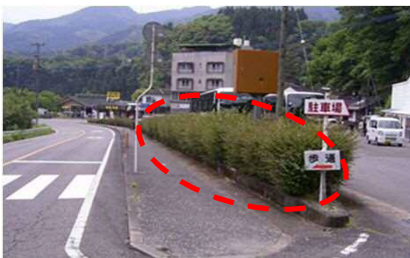
2. 深い溪谷と雄大な山並み、棚田や里山の風景が眺望できる開放的な区間については、その眺望を妨げないための除草や伐開、及び植栽の撤去を行い、その後は美しい眺望を保つ維持管理を行う。

(現状・課題3への対応)

3. 上記以外の区間については、植栽の撤去や間引きなど、植栽内容の全般的な見直しを行い、その後の維持管理の効率化を図る。

(整備・維持管理方針に基づく対応の例)

1. の対応例 (県道土生高千穂線)



観光地周辺としてリニューアル整備を行う

2. の対応例 (県道北方高千穂線)



川側の除草や伐開を行う

3. の対応例 (国道218号)



間引きや切戻しを行う

3. の対応例 (国道218号)



間引きや切戻しを行う

3. の対応例 (県道北方高千穂線)



撤去や間引きを行う

3. の対応例 (県道北方高千穂線)



自然樹形での維持管理を行う

○推進路線個別表

(2/4)

番号	4	路線名	国道10号(延岡市~日向市)、 県道日知屋財光寺線
----	---	-----	------------------------------

指定地区等一覧

・沿道修景植栽地区

路線名	番号	名称	位置	修景用植物の種類 【指定時】	植栽延長(m) 【指定時】			植栽延長(m) 【現況】			指定 年月
					左側	右側	合計	左側	右側	合計	
国道10号	①	松原	延岡市大字土々呂字松原地内 字旭ヶ丘地内	ツバキ	1,000	800	1,800	0	800	800	S45.2
国道10号	②	加草・船越	延岡市大字土々呂字船越地内 門川町大字門川字加草地内	ツバキ	1,800	2,050	3,850	800	1,540	2,340	S45.2
国道10号	③	丸山・樺木	日向市大字日知屋字丸山地内 字樺木地内	スズナギ	1,900	2,400	4,300	0	590	590	S45.2
国道10号	④	土々呂毛	日向市大字平岩土々呂毛地内	ツバキ・アザミ	270	0	270	220	0	220	S48.5
国道10号	⑤	金ヶ浜	日向市大字平岩金ヶ浜地内	ツバキ・アザミ・アザミ	200	0	200	180	85	265	S52.6

・沿道自然景観地区

路線名	番号	名称	区域	面積 (ha)	特徴	指定 年月
国道10号	⑥	美々津	日向市美々津町の一部	28.10	広葉樹林	S45.2

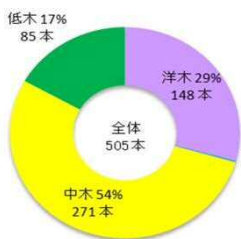
・沿道修景指定樹木

路線名	番号	樹種	位置	本数	指定 数値	指定 年月
国道10号	⑦	加草	日向市美々津町地内	1	樹姿美	S61.2

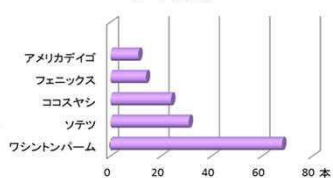
植栽花木現況一覧

※国道10号は県管理区間における植栽状況を示す

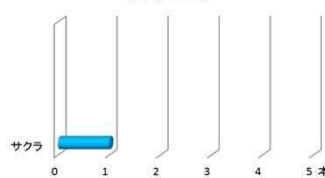
国道10号 樹木



洋木植栽



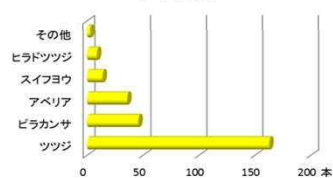
高木植栽



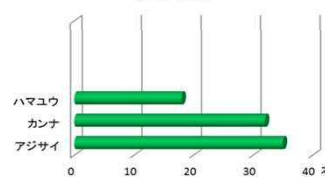
国道10号 寄植



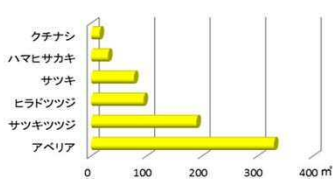
中木植栽



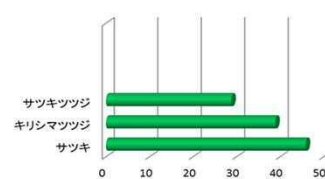
低木植栽



寄植中木



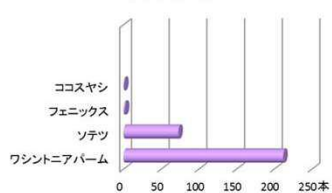
寄植低木



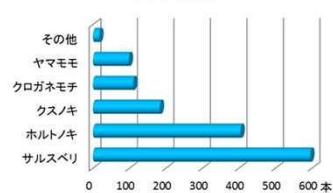
日知屋財光寺線 樹木



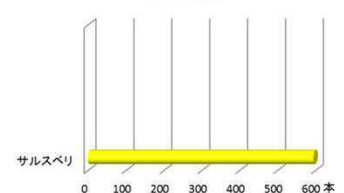
洋木植栽



高木植栽



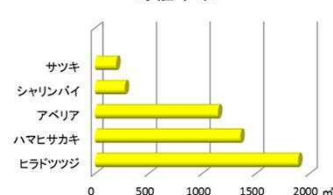
中木植栽



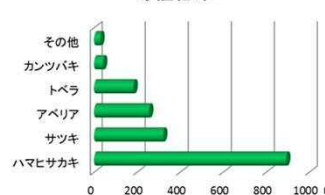
日知屋財光寺線 寄植



寄植中木



寄植低木



番号	4	路線名	国道10号（延岡市～日向市）、 県道日知屋財光寺線
修景コンセプト		<p>「日向の玄関口の日向ICと細島港を結び、日向灘の海や港の風景と調和した道路修景」</p> <p>県北地域の暮らしや物流を支える主要幹線、及び交通の玄関口と連絡する区間として、東九州自動車道の開通後も重要な役割を果たし、交通量も多い区間となっている。</p> <p>そこで、<u>市街地において通行する自動車及び歩行者に向けた花と緑を確保する区間として、及び、海側の眺望が開けた開放的な区間においてはその眺望を確保し、通行する自動車の目線から沿道の風景を楽しむことのできる区間として、整備と維持管理を行う。</u></p>	
路線における現状・課題		<p>（現状・課題1）</p> <ul style="list-style-type: none"> 東九州自動車道の開通により、日向ICが交通の玄関口として機能し、大型クルーズ船も寄港する重要港湾の細島港と連絡する交通と物流の要の路線として、重要な役割を果たしている。 <p>（現状・課題2）</p> <ul style="list-style-type: none"> 日向市南部の区間など、海側の風景が眺望できる区間が点在しているが、植栽樹木の生長や自然の草木の繁茂により、眺望が阻害されている。 日向市が中心となり、国、県、地域住民とが協力して、眺望の回復のための取組が積極的に行われている。 <p>（現状・課題3）</p> <ul style="list-style-type: none"> 寄植の生長や繁茂により、交通安全上の懸念を生じる恐れがある。 植栽樹木の高木化や老木化により、過密化や樹姿の悪化、倒木や落枝の懸念、維持管理上の支障等が生じている。 	

番号	4	路線名	国道10号（延岡市～日向市）、 県道日知屋財光寺線
----	---	-----	------------------------------

整備・維持管理方針

（現状・課題1への対応）

1. 日向IC及び細島港に連絡する区間については、交通の玄関口として、植栽地区の新設またはリニューアル整備を行い、その後は美しい景観を保つ維持管理を行う。

（現状・課題2への対応）

2. 海側の風景が眺望できる開放的な区間については、その眺望を妨げないための除草や伐開、及び植栽の撤去を行い、その後は美しい眺望を保つ維持管理を行う。

（現状・課題3への対応）

3. 上記以外の区間については、植栽の撤去や間引きなど、植栽内容の全般的な見直しを行い、その後の維持管理の効率化を図る。

（整備・維持管理方針に基づく対応の例）

1. の対応例（県道日知屋財光寺線）



高木は残し、足下のリニューアル整備を行う

1. の対応例（県道日知屋財光寺線）



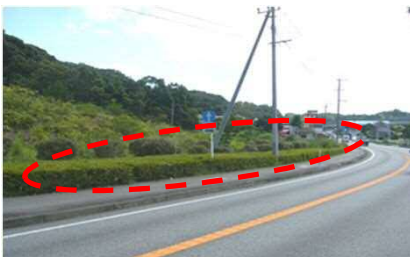
高木は残し、足下のリニューアル整備を行う

2. の対応例（国道10号）



植栽の間引きや撤去、海側の除草や伐開を行う

3. の対応例（国道10号）



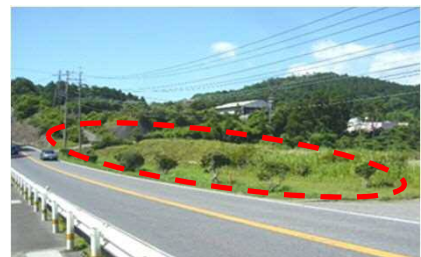
撤去や間引きを行う

3. の対応例（国道10号）



植栽帯を撤去し歩道にする

3. の対応例（国道10号）



撤去や間引きを行う

○推進路線個別表

(1/4)

番号	5	路線名	国道327号（日向市～椎葉村）
----	---	-----	-----------------

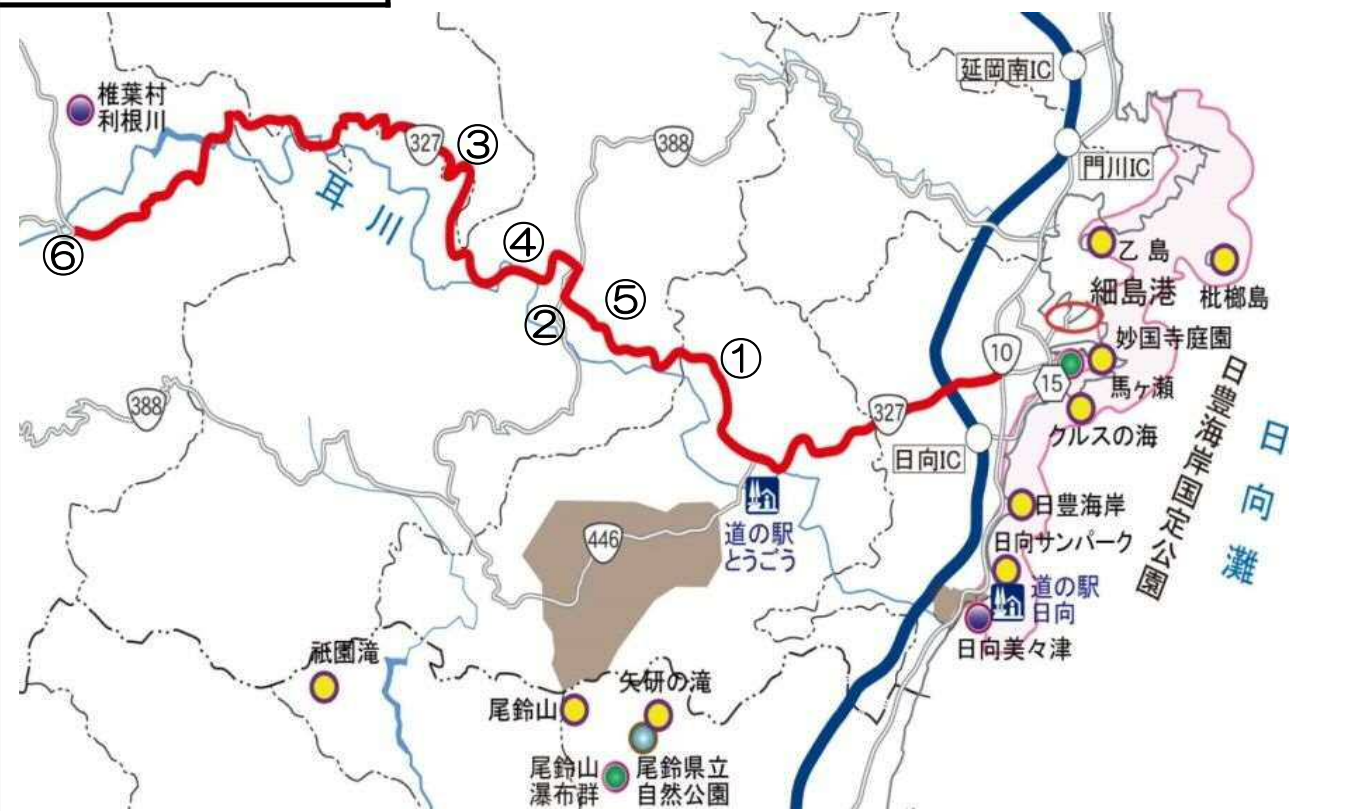
路線概要

<国道327号>

日向灘沿岸部から入郷地区の山間部を経て熊本県へ連絡する路線であり、地域の暮らしと物流等を支える主要路線として機能している。

溪谷とダム湖が連続する耳川と、深い山々が織りなす雄大な自然景観が印象的な区間であり、平成27年12月に認定された世界農業遺産の高千穂郷・椎葉山地域を構成する、棚田やモザイク林相といった特徴的な景観も有している。

指定地区等位置図



植栽地区（田代・国道327号）



自然景観地区（鳥の巣・国道327号）



自然景観地区（石峠・国道327号）

<国道327号>

- ・ 除 草 : 年3回
- ・ 寄植剪定・施肥・防除 : 年2回
- ・ 樹木剪定・施肥・防除 : 年2回

○推進路線個別表

(2/4)

番号	5	路線名	国道327号（日向市～椎葉村）
----	---	-----	-----------------

指定地区等一覧

・沿道修景植栽地区

路線名	番号	名称	位置	修景用植物の種類【指定時】	植栽延長(m)【指定時】			植栽延長(m)【現況】			指定年月
					左側	右側	合計	左側	右側	合計	
国道327号	①	大内原	日向市東郷町八重原迫野内地内 東臼杵郡美郷町西郷区大田原地内	ツツジ・サザンカ	100	4,500	4,600	285	2,865	3,150	S53.7
国道327号	②	田代	東臼杵郡美郷町西郷区田代字池の上内地内 // 字古川地内	ツツジ・サザンカ・ミズハコ ほか	510	1,267	1,777	400	1,450	1,850	S61.2

・沿道自然景観地区

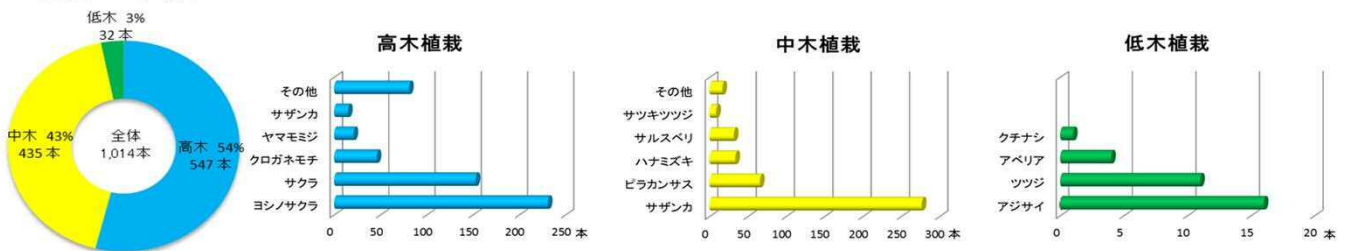
路線名	番号	名称	区域	面積 (ha)	特徴	指定年月
国道327号	③	鳥の巣	東臼杵郡諸塚村大字七ツ山梅の木の一部 東臼杵郡美郷町西郷区山三ヶの各一部	26.90	渓谷美	S47.6
国道327号	④	立石	東臼杵郡美郷町西郷区立石の各一部	36.30	渓谷美	S47.6
国道327号	⑤	石峠	東臼杵郡美郷町西郷区田代字横山 東臼杵郡美郷町西郷区田代字曾木 東臼杵郡美郷町西郷区田代字大椎地内	93.75	湖沼美 河川美 山岳美	S50.6
国道327号	⑥	那須橋	東臼杵郡椎葉村大字下福良地内	73.84	湖沼美	S52.6

・沿道修景指定樹木

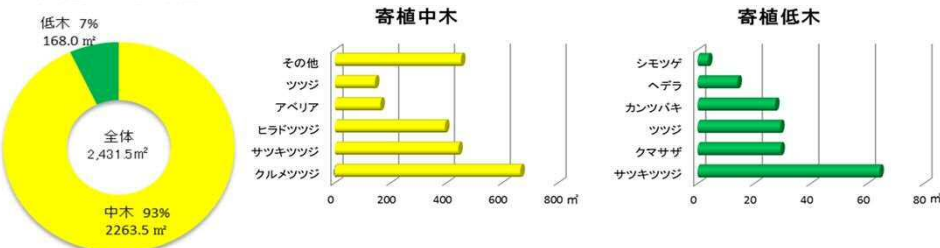
なし

植栽花木現況一覧

国道327号 樹木



国道327号 寄植



番号

5

路線名

国道327号（日向市～椎葉村）

修景コンセプト

「懐深き奥日向へと誘う、豊かな山々と耳川に包まれた、自然の緑と調和した道路修景」

深い山々と、耳川の渓谷、ダム湖に映し出される力強い緑を背景に、歳月をかけて育んできたサクラやサザンカの四季の花の彩りが織りなす風景を有する、懐深き奥日向へと誘う観光路線、及び入郷地区住民の主要な生活道路として機能している。

そこで、耳川と山々の織りなす風景の道路からの眺望を確保し、通行する自動車の目線から沿道の風景を楽しむことのできる区間として、及び、歳月をかけて育んできた修景木を健全な状態に保ち、通行する自動車の目線から四季の花の彩りを楽しむことのできる区間として、整備と維持管理を行う。

路線における現状・課題

（現状・課題1）

- ・4つの自然景観地区を有するなど、豊かな自然景観が特徴の路線だが、渓谷やダム湖の風景が眺望できる開放的な区間において、植栽の生長や自然の草木の繁茂により眺望が阻害されている。

（現状・課題2）

- ・植栽地区周辺では、サクラやサザンカ等の植栽が沿道の魅力の一つとなっているが、植栽樹木の老木化や生長に伴う樹姿の悪化等が生じている。

（現状・課題3）

- ・植栽樹木の高木化や老木化により、樹姿の悪化、倒木や落枝の懸念、維持管理上の支障等が生じている。

番号	5	路線名	国道327号（日向市～椎葉村）
----	---	-----	-----------------

整備・維持管理方針

（現状・課題1への対応）

1. 渓谷やダム湖の景観が眺望できる開放的な区間については、その眺望を妨げないための除草や伐開、及び植栽の撤去を行い、その後は美しい眺望を保つ維持管理を行う。

（現状・課題2への対応）

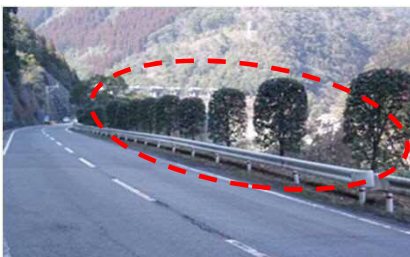
2. 植栽地区周辺については、老木化が見られるサクラについて、その健全性について評価し、必要に応じて間引きや植替えを行うとともに、その他の植栽については、植物の特性に配慮し周辺景観と調和した配置・間隔となるよう間引きや切戻し等を行い、その後は美しい景観を保つ維持管理を行う。

（現状・課題3への対応）

3. 上記以外の区間については、植栽の撤去や間引きなど、植栽内容の全般的な見直しを行い、その後の維持管理の効率化を図る。

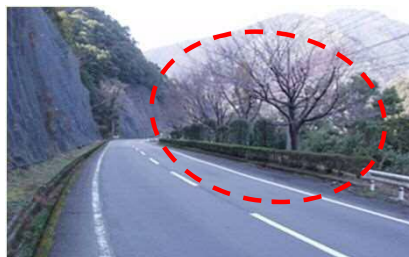
（整備・維持管理方針に基づく対応の例）

1. の対応例（国道327号）



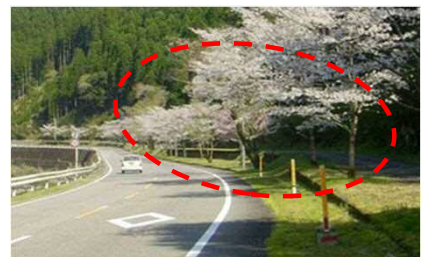
撤去や間引きを行う

2. の対応例（国道327号）



間引きや植替えを行う

2. の対応例（国道327号）



間引きや植替えを行う

3. の対応例（国道327号）



寄植を撤去し、芝生等への植替えを行う

○推進路線個別表

(1/4)

番号	6	路線名	国道10号（都農町～宮崎市）
----	---	-----	----------------

路線概要

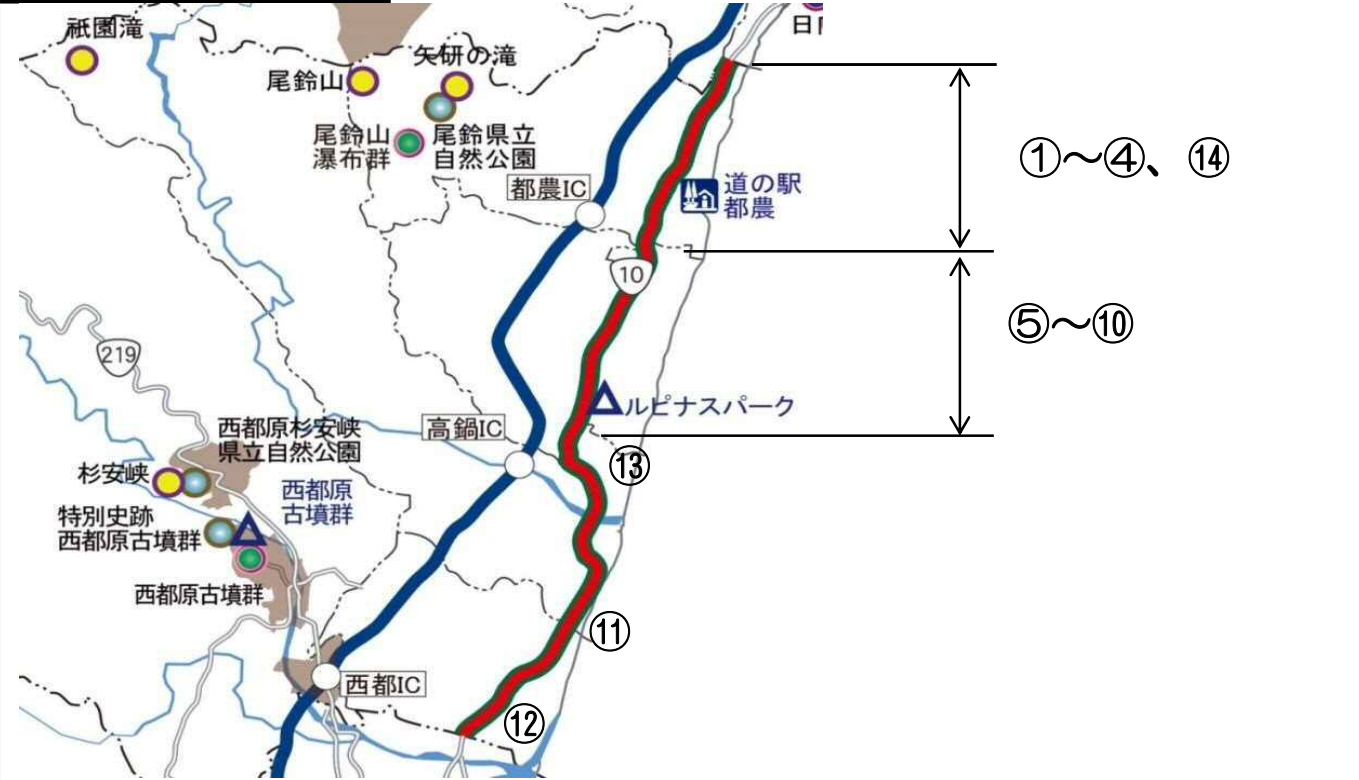
<国道10号（都農町～宮崎市）>

北九州市を起点とし、大分市、宮崎市を経て鹿児島市へと至る、九州東部を縦貫する主要幹線道路である。

当区間内においても、くらし・物流・防災上重要な路線であるが、東九州自動車道の宮崎～大分間が開通した後は、交通量は減少傾向にある。

沿線には寄植や中高木を主体とした植栽地区が多く配置され、季節に応じた修景が見られるが、老木化や繁茂等により本来の植栽地区としての姿が損なわれている箇所や、歩道周辺の植栽が交通の支障となっている箇所もあり、現状を踏まえた見直しが必要な区間である。

指定地区等位置図



⑩ 植栽地区（鬼ヶ久保・国道10号）



⑫ 植栽地区（富田・国道10号）



⑬ 自然景観地区（檜谷・国道10号）

<国道10号（都農町～宮崎市）>

- ・ 除 草 : 年2回
- ・ 寄植剪定・施肥・防除 : 年1回
- ・ 樹木剪定・施肥・防除 : 年1回

※国道10号は県管理区間における

管理状況を示す

○推進路線個別表

(2/4)

番号	6	路線名	国道10号(都農町～宮崎市)
----	---	-----	----------------

指定地区等一覧

・沿道修景植栽地区

路線名	番号	名称	位置	修景用植物の種類【指定時】	植栽延長(m)【指定時】			植栽延長(m)【現況】			指定年月
					左側	右側	合計	左側	右側	合計	
国道10号	①	寺迫	児湯郡都農町大字川北字寺迫地内	材デマリ	500	0	500	300	0	300	S45.2
国道10号	②	心見	児湯郡都農町大字川北字心見地内 // 字山末地内	サリノハ・ハコネツギ	600	0	600	530	0	530	S45.2
国道10号	③	都農 バイパス	児湯郡都農町大字川北都農バイパス地内	ムクゲ	1,800	2,000	3,800	690	900	1,590	S49.7
国道10号	④	名貴	児湯郡都農町大字川北字薩別府地内 児湯郡川南町大字川南字名貴地内	ハコバシラ・スズメバチ	500	450	950	250	450	700	S45.2
国道10号	⑤	塩付	児湯郡川南町大字川南字塩付三地内 // 字名貴地内	カキ・アザミ	1,300	1,250	2,550	85	0	85	S45.2
国道10号	⑥	新茶屋	児湯郡川南町大字川南字下新茶屋 // 字上新茶屋地内	サリノハ・アメリカイロ スズメバチ	200	700	900	150	340	490	S45.2
国道10号	⑦	二ツ橋	児湯郡川南町大字川南字清瀬地内 // 字二ツ瀬	サリノハ・サトウヅク アメリカイロ	800	550	1,350	225	0	225	S45.2
国道10号	⑧	川南 バイパス	児湯郡川南町大字川南川南バイパス地内	ホトカヅツジ	1,500	1,500	3,000	1,155	1,235	2,390	S49.7
国道10号	⑨	番野地	児湯郡川南町大字川南字上番野地地内	サトウヅク・アザミ	450	0	450	180	0	180	S45.2
国道10号	⑩	鬼ヶ久保 ・依橋	児湯郡川南町大字川南字鬼ヶ久保地内 児湯郡高鍋町大字持田字依橋地内	サリノハ・アザミ キョウチクトウ	1,500	600	2,100	790	590	1,380	S45.2
国道10号	⑪	日置 ・堀の内	新富町大字日置字六反田地内 高鍋町大字高鍋字樋渡地内	ハコバシラ	650	3,640	4,290	2,015	205	2,220	S45.2
国道10号	⑫	富田	児湯郡新富町大字下富田字大洲地内 // 大字三納代字八幡地内	ツバキ・サツキ	1,700	1,600	3,300	270	380	650	S45.2

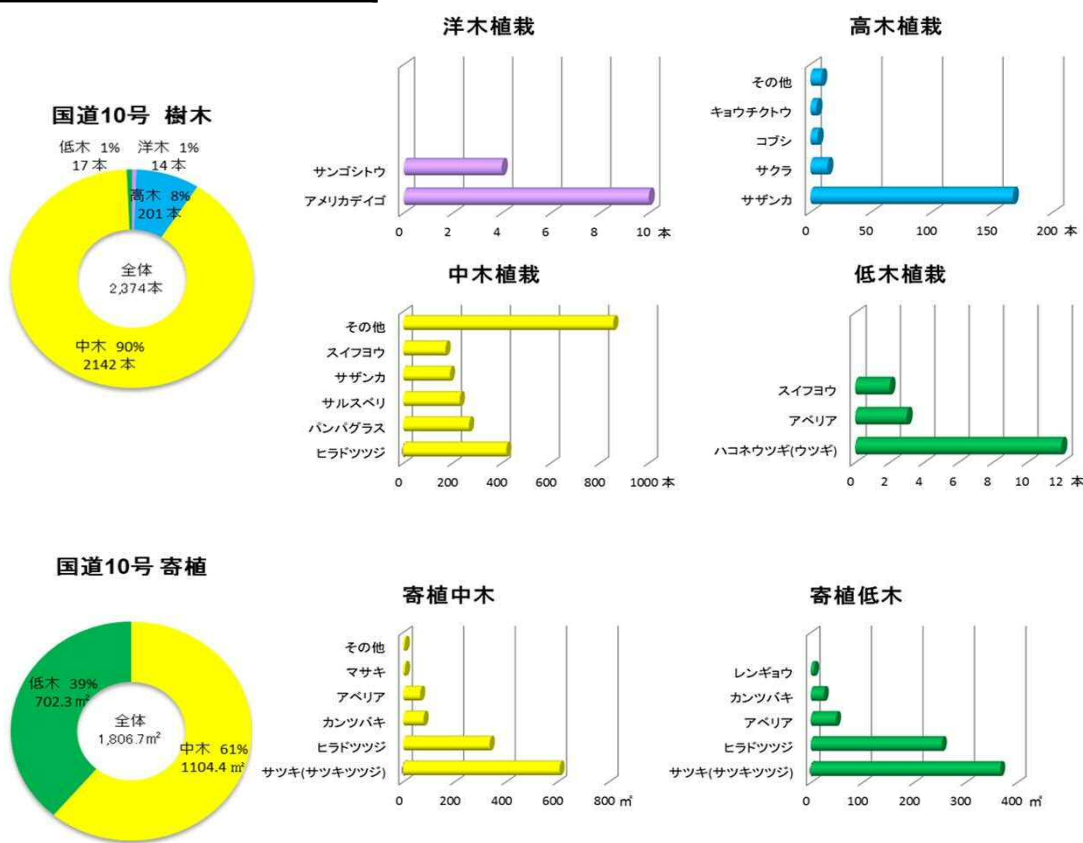
・沿道自然景観地区

・沿道修景指定樹木

路線名	番号	名称	区域	面積 (ha)	特徴	指定 年月	路線名	番号	樹種	位置	本数	指定 要旨	指定 年月
国道10号	⑬	楡谷	児湯郡高鍋町大字持田字楡谷の一部	83.80	田園風景	S45.2	国道10号	⑭	カキ・アザミ	児湯郡都農町大字川北地内	1	古木	S47.6

植栽花木現況一覧

※国道10号は県管理区間における植栽状況を示す



番号

6

路線名

国道10号（都農町～宮崎市）

修景コンセプト

「県北と県央の観光地をつなぐ道として、周辺環境と調和した道路修景」

県北と県央を結ぶ幹線として、単調になりがちな区間において沿道修景植栽地区の保全に努めてきたが、歩道周辺の植栽が一部で交通安全上の懸念を生じる恐れがあるほか、交通量の一部が高速道路へ転換していく状況等が生じてきている。

そこで、歳月をかけて育ててきた植栽地区の規模及び内容について、周辺の景観や土地利用と調和するよう見直し、市街地において通行する自動車及び歩行者に向けた花と緑を確保する区間として、整備と維持管理を行う。

路線における現状・課題

(現状・課題1)

- ・東九州自動車道の開通に伴い交通量は減少傾向にあるが、県央部を縦断する主要幹線として一定量は維持されており、人々の移動や物流の中心として機能している。
- ・植栽地区が数多く配置されており、季節に応じた修景が見られるが、植栽の生長や老木化による過密化や樹姿の悪化が生じ、本来の植栽地区としての姿が損なわれてきている。
- ・樹木と寄植の生長や繁茂により、交差点部や歩道部における交通安全上の懸念を生じる恐れがある。

番号	6	路線名	国道10号（都農町～宮崎市）
----	---	-----	----------------

整備・維持管理方針

（現状・課題1への対応）

1. 全区間を通して、交通安全上の懸念を生じる恐れのある植栽は撤去するとともに、幹線道路における修景として花と緑の保護を意識しながら、老木化や過密化が生じている植栽をはじめ、植栽内容を全般的に見直すとともに、植物の特性に配慮し周辺景観と調和した配置・間隔となるよう植替えや間引き、切戻し等を行い、その後の維持管理の省力化を図る。

（整備・維持管理方針に基づく対応の例）

1. の対応例（国道10号）



撤去や植替えを行う

1. の対応例（国道10号）



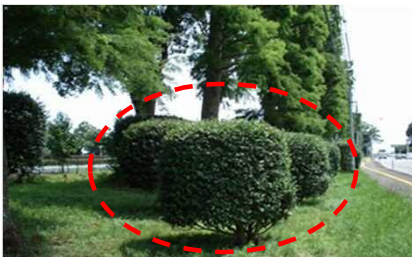
歩道の交通の支障とならない維持管理を行う

1. の対応例（国道10号）



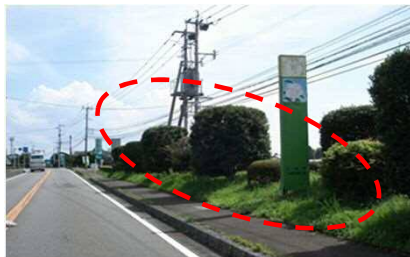
間引きや植替えを行う

1. の対応例（国道10号）



間引きや切戻しを行う

1. の対応例（国道10号）



間引きや切戻しを行う

1. の対応例（国道10号）



間引きや切戻しを行う

○推進路線個別表

(1/4)

番号	7	路線名	国道219号、県道西都原古墳線
----	---	-----	-----------------

路線概要

<国道219号>

熊本市と宮崎市を結ぶ一般国道であり、宮崎市街地から西都、西米良へと向かう主要路線として機能している。西都市～宮崎市の区間ではバイパス建設等の整備が進んでいるほか、東九州自動車道西都ICも存在し、交通上重要な区間となっている。

また、西都市～西米良村の区間は、一ツ瀬川とダム湖、深い山々などが織りなす雄大な自然景観が印象的な区間であり、バイパス建設や道路拡幅等の整備が進んできているほか、近年では観光客数も増加傾向にある。

<県道西都原古墳線>

県道西都原古墳線は、西都市街地から、周辺の自然景観と調和した四季折々の彩りを持つ西都原古墳群へとつなぐ路線としての役割を持っている。

指定地区等位置図



② 植栽地区（園元・国道219号）



⑥ 植栽地区（下那珂・国道219号）



国道219号 植栽状況（西米良村）

<国道219号> <西都原古墳線>

- ・ 除 草 : 年3回
- ・ 寄植剪定・施肥・防除 : 年1回
- ・ 樹木剪定・施肥・防除 : 年1回

○推進路線個別表

(2/4)

番号	7	路線名	国道219号、県道西都原古墳線
----	---	-----	-----------------

指定地区等一覧

・沿道修景植栽地区

路線名	番号	名称	位置	修景用植物の種類【指定時】	植栽延長(m)【指定時】			植栽延長(m)【現況】			指定年月
					左側	右側	合計	左側	右側	合計	
国道219号	①	穂北	西都市大字穂北宇栢原地内 // 宇杉安地内	スズナギ	54	136	190	0	370	370	S61.2
国道219号	②	園元	西都市大字右松地内	ケヤキ・アケボノ・ササキ	2,200	2,200	4,400	2,200	2,200	4,400	H25.12
国道219号	③	上田島	宮崎市佐土原町上田島西野久尾地内	スズナギ	250	200	450	250	200	450	S45.2
国道219号	④	岩見堂	宮崎市佐土原町東上那珂岩見堂地内	ハナ	600	650	1,250	600	650	1,250	S45.2
国道219号	⑤	黒田	宮崎市佐土原町下那珂黒田地内	ハ	0	150	150	0	150	150	S45.2
国道219号	⑥	下那珂	宮崎市佐土原町下那珂黒田地内 // 宇浮橋地内	ハナ	600	550	1,150	600	550	1,150	S45.2

・沿道自然景観地区

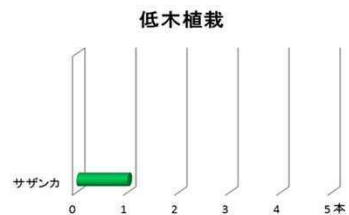
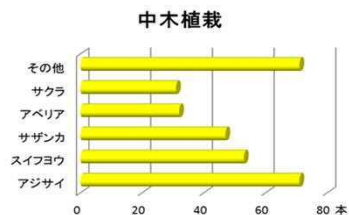
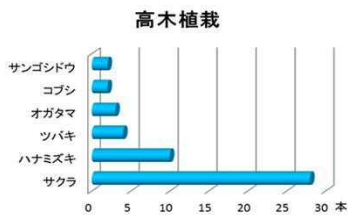
なし

・沿道修景指定樹木

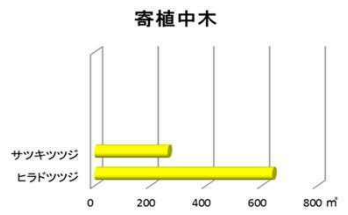
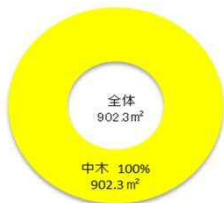
路線名	番号	樹種	位置	本数	指定要旨	指定年月
国道219号	⑦	ナ	西都市妻栗野地内	1	古木	S47.6
国道219号	⑧	1/ナ	宮崎市佐土原町上那珂宇東野久尾地内	1	樹姿美	S45.2
国道219号	⑨	ツバキ	宮崎市佐土原町東上那珂宇立花地内	1	開花美	S45.2

植栽花木現況一覧

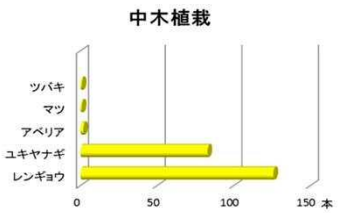
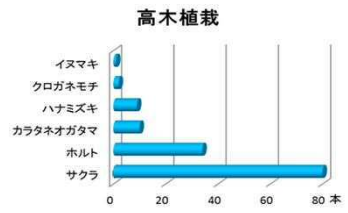
国道219号 樹木



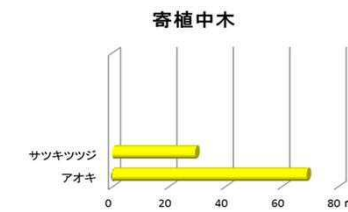
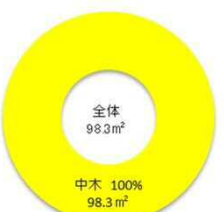
国道219号 寄植



西都原古墳線 樹木



西都原古墳線 寄植



番号

7

路線名

国道219号、県道西都原古墳線

修景コンセプト

「西都原、西米良へと向かう道として、豊かな山々と一ツ瀬川に映し出された自然の緑と調和した道路修景」

西都原と西米良の観光地へと向かう道として、市街地の植栽地区における花と緑をはじめ、山々の緑と河川や湖沼に映し出される力強い緑を背景とした自然豊かな道路景観を有する区間となっている。

そこで、市街地において通行する自動車及び歩行者に向けた花と緑を確保する区間として、及び、市街地バイパス区間の開放的な眺望や、一ツ瀬川と山々が織りなす自然景観の眺望を確保し、通行する自動車の目線から沿道の風景を楽しむことのできる区間として、地域における活動との調和も意識しながら、整備と維持管理を行う。

路線における現状・課題

(現状・課題1)

- ・国道219号の杉安橋～西米良村の区間は、一ツ瀬川と並走し、奥西都や西米良村へとつながる道として機能しており、近年は道路整備も進み、観光客も増加傾向にある。
- ・西米良村内では、地域による沿道への植栽活動等が積極的に行われており、サクラやアジサイ、紅葉樹等の植栽が沿道の魅力の一つとなっている。

(現状・課題2)

- ・国道219号の園元バイパス区間は、宮崎市方面や西都ICから西都市街地への玄関口となっているとともに、広い緑地帯を利用した修景が区間の景観を特徴付けているが、一方で、植栽基盤に起因する樹木の生長不良や、植栽地区全体としてのバランスの不和等が生じている。

(現状・課題3)

- ・県道西都原古墳線は、県を代表する観光地の一つである西都原古墳群へとつながる道として機能している。

(現状・課題4)

- ・国道219号の一ツ瀬川とダム湖の風景が眺望できる区間、及びバイパス区間等の、周囲の眺望が開けた開放的な区間において、植栽の生長や自然の草木の繁茂により眺望が阻害されている。

(現状・課題5)

- ・植栽樹木、寄植の老木化による樹姿の悪化が生じている。
- ・寄植の生長や繁茂により、交通安全上の懸念を生じる恐れがある。

番号	7	路線名	国道219号、県道西都原古墳線
----	---	-----	-----------------

整備・維持管理方針

(現状・課題1への対応)

1. 国道219号の杉安橋～西米良村の区間については、地域における取組を活かし協働を推進しながら、除草や樹木の剪定等を徹底し、美しい景観を保つ維持管理を行う。

(現状・課題2への対応)

2. 国道219号の園元バイパス区間については、西都の玄関口として、地域の特徴を活かした修景を意識して植栽内容を見直し、その後は現状と同水準の維持管理を行う。

(現状・課題3への対応)

3. 県道西都原古墳線については、観光地へつながる道路として、西都原古墳群における四季折々の花の彩り及び周辺景観との調和を図りながら、除草や樹木の剪定等、美しい景観を保つ維持管理を行う。

(現状・課題4への対応)

4. 国道219号の一ツ瀬川とダム湖の風景が眺望できる区間、及び春田バイパス等の周囲に遮蔽物の少ない開放的な区間については、その眺望を妨げないための除草や伐開、及び植栽の撤去を行い、その後は美しい眺望を保つ維持管理を行う。

(現状・課題5への対応)

5. 上記以外の区間については、植栽の撤去や間引きなど、植栽内容の全般的な見直しを行い、その後の維持管理の効率化を図る。

(整備・維持管理方針に基づく対応の例)

1. の対応例 (国道219号)



地域の取組を活かした整備を行う

2. の対応例 (国道219号)



地域の特徴を活かした見直しを行う

3. の対応例 (県道西都原古墳線)



現状と同水準の維持管理を行う

4. の対応例 (国道219号)



眺望を阻害しないよう維持管理を行う

5. の対応例 (国道219号)



寄植を撤去し芝生等への植替えを行う

5. の対応例 (国道219号)



間引きや植替えを行う

○推進路線個別表

(1/9)

番号	8	路線名	国道220号、国道448号、 県道内海加江田線、県道都井岬線
----	---	-----	-----------------------------------

路線概要	<p><国道220号> 宮崎市と鹿児島県霧島市を結ぶ路線で、南九州の幹線道路として機能しているとともに、本県内の沿線には「道の駅フェニックス」「サンメッセ日南」「鶴戸神宮」等の観光地が存在している。</p> <p><国道448号>、<県道都井岬線> 日南市南郷町と串間市を結ぶ海沿いの路線で、沿線には「幸島」や「都井岬」等の観光地が存在し、近年では「港の駅 めいつ」「道の駅なんごう」等も新たな観光スポットとして人気を集めている。</p> <p><県道内海加江田線> 平成17年に国道220号青島バイパスが開通するまでは国道として機能していたが、現在は県道となり、「青島」「堀切峠」「道の駅フェニックス」等の観光地へとつながるバイウェイ（脇道）として機能している。</p>
------	--

指定地区等位置図



① 植栽地区（南バイパス・国道220号）



県道内海加江田線 植栽状況



県道都井岬線 植栽状況

番号	8	路線名	国道220号、国道448号、 県道内海加江田線、県道都井岬線
維持管理状況			
<p><国道220号></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 除 草 : 年3回 (宮崎市デパート前～宮崎市熊野) ・ 除 草 : 年3回 (日南市～串間市) ・ 除 草 : 年2回 (串間市～鹿児島県境) ・ 寄植剪定・施肥・防除 : 年1回 (宮崎市デパート前～宮崎市熊野) ・ 寄植剪定・施肥・防除 : 年1回 (日南市～串間市) ・ 寄植剪定・施肥・防除 : 年1回 (串間市～鹿児島県境) ・ 樹木剪定・施肥・防除 : 年1回 <p><国道448号></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 除 草 : 年2回 ・ 寄植剪定・施肥・防除 : 年1回 ・ 樹木剪定・施肥・防除 : 年1回 <p><県道内海加江田線></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 除 草 : 年3回 ・ 寄植剪定・施肥・防除 : 年2回 ・ 樹木剪定・施肥・防除 : 年2回 <p><県道都井岬線></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 除 草 : 年2回 ・ 寄植剪定・施肥・防除 : 年1回 ・ 樹木剪定・施肥・防除 : 年1回 			
<p>※国道220号は県管理区間における管理状況を示す</p>			

番号	8	路線名	国道220号、国道448号、 県道内海加江田線、県道都井岬線
----	---	-----	-----------------------------------

指定地区等一覧

・沿道修景植栽地区

路線名	番号	名称	位置	修景用植物の種類 【指定時】	植栽延長(m) 【指定時】			植栽延長(m) 【現況】			指定 年月	指定次
					左側	右側	合計	左側	右側	合計		
国道220号	①	宮崎南 バイパス	宮崎市大字恒久地内 // 大字熊野地内	ワシントンパーム・ フェニックス・コブシほか	9,370	9,370	18,740	9,370	9,370	18,740	S55.6	10次
国道220号	②	上中村	日南市南郷町大字中村甲字高免地内 // 大字谷之口字猫森地内	ガムハリ	2,300	2,300	4,600	2,300	2,300	4,600	S55.6	10次
国道220号	③	今町	串間市今町地内	キョウチクトウ	1,000	0	1,000	100	0	100	S54.7	9次
国道220号	④	高松	串間市大字高松地内	ビロウ・フェニックス・ シャリツバイ ほか	350	350	700	290	170	460	S53.7	8次

・沿道自然景観地区

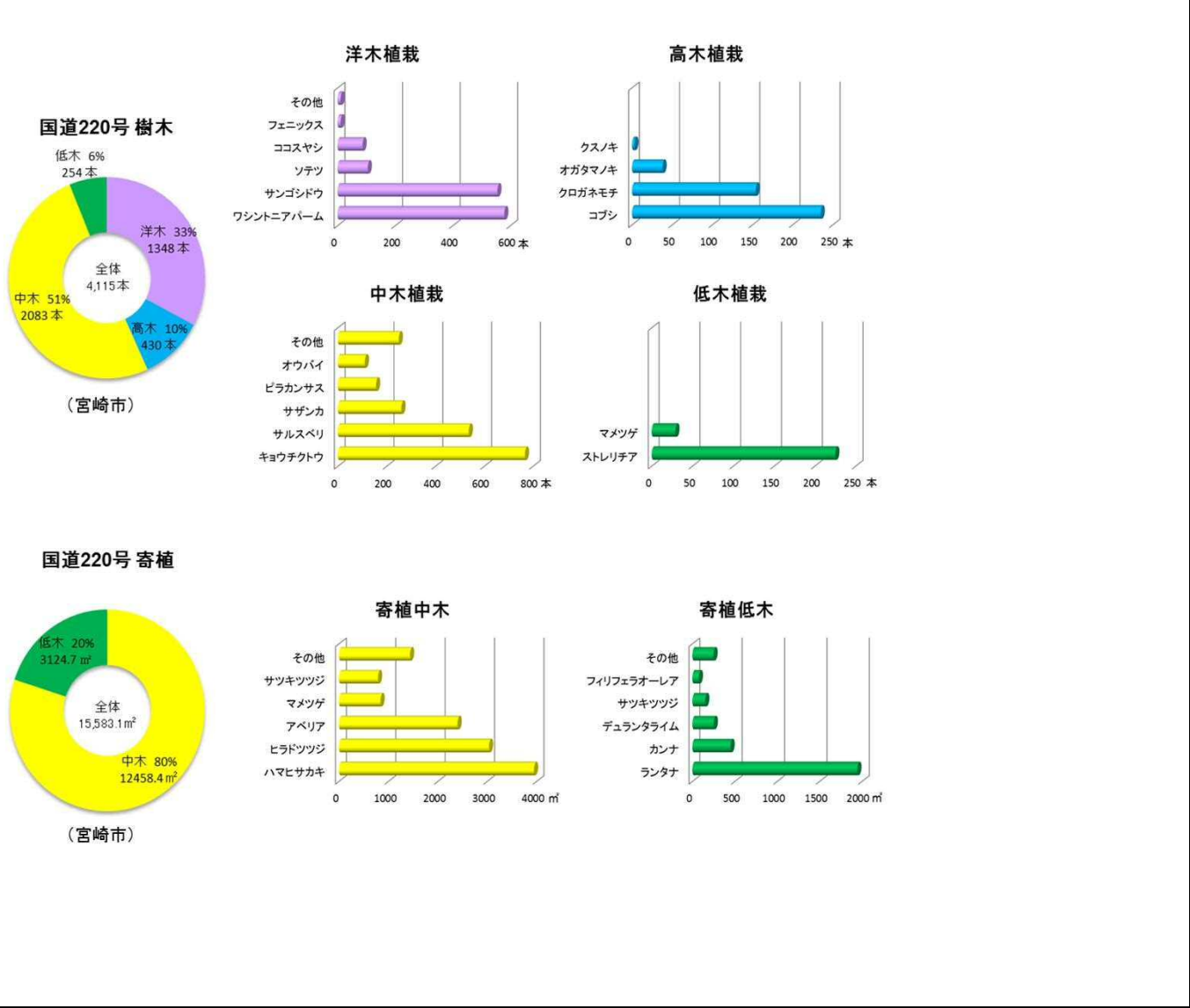
なし

・沿道修景指定樹木

なし

植栽花木現況一覧

※国道220号は県管理区間の植栽状況を示す



番号	8	路線名	国道220号、国道448号、 県道内海加江田線、県道都井岬線
----	---	-----	-----------------------------------

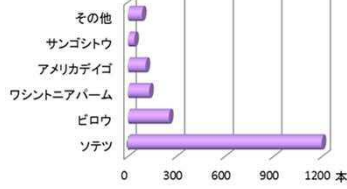
植栽花木現況一覧

※国道220号は県管理区間における植栽状況を示す。

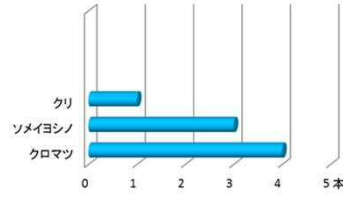
国道220号 樹木



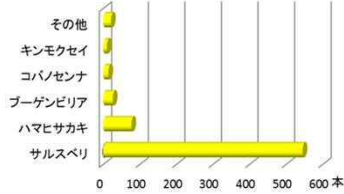
洋木植栽



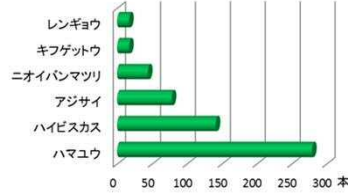
高木植栽



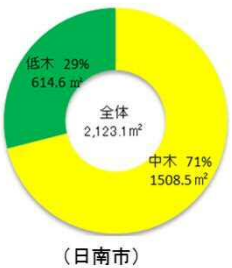
中木植栽



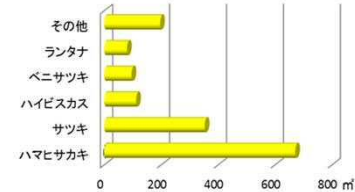
低木植栽



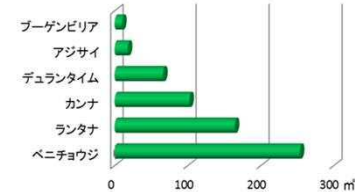
国道220号 寄植



寄植中木



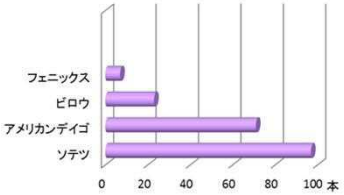
寄植低木



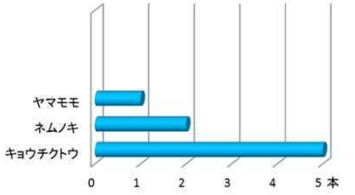
国道220号 樹木



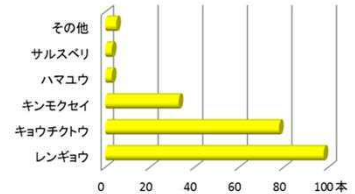
洋木植栽



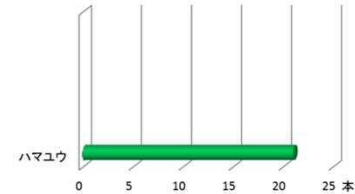
高木植栽



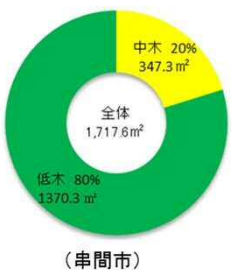
中木植栽



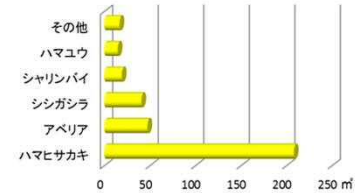
低木植栽



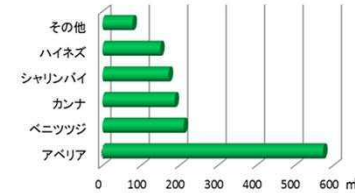
国道220号 寄植



寄植中木



寄植低木



番号	8	路線名	国道220号、国道448号、 県道内海加江田線、県道都井岬線
----	---	-----	-----------------------------------

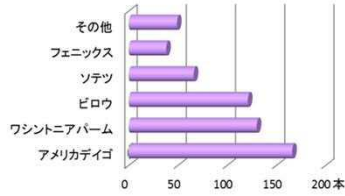
植栽花木現況一覧

国道448号 樹木

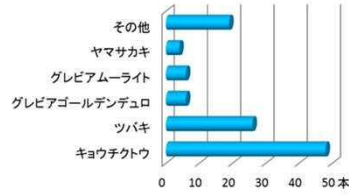


(日南市)

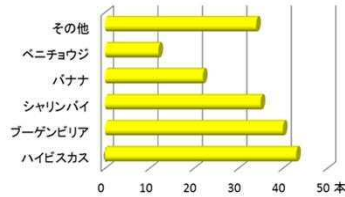
洋木植栽



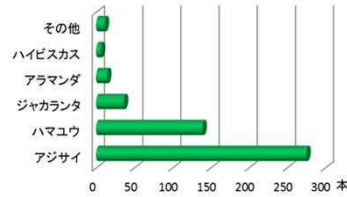
高木植栽



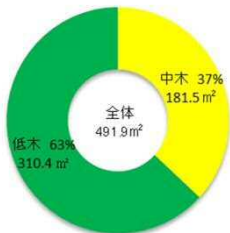
中木植栽



低木植栽

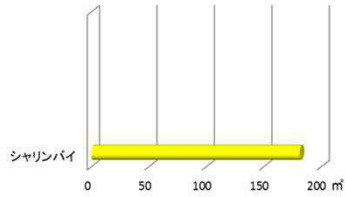


国道448号 寄植

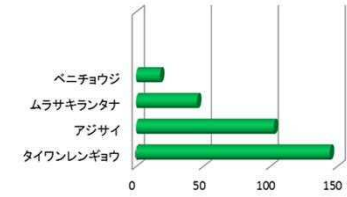


(日南市)

寄植中木



寄植低木

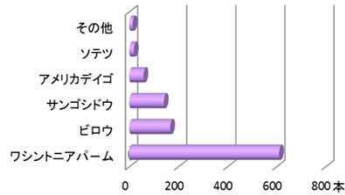


国道448号 樹木

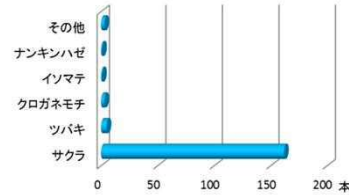


(串間市)

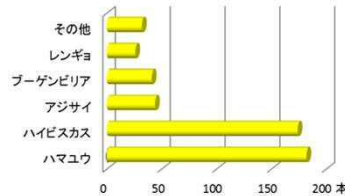
洋木植栽



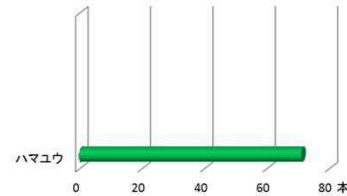
高木植栽



中木植栽



低木植栽

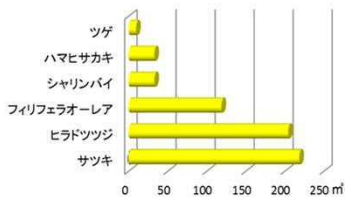


国道448号 寄植

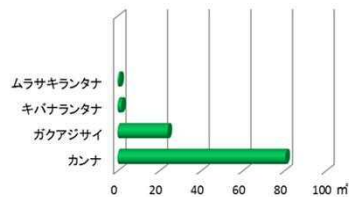


(串間市)

寄植中木



寄植低木



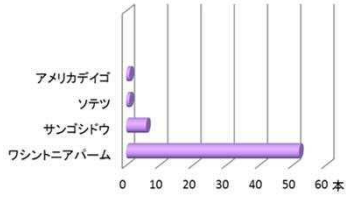
番号	8	路線名	国道220号、国道448号、 県道内海加江田線、県道都井岬線
----	---	-----	-----------------------------------

植栽花木現況一覧

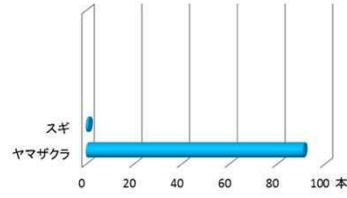
内海加江田線 樹木



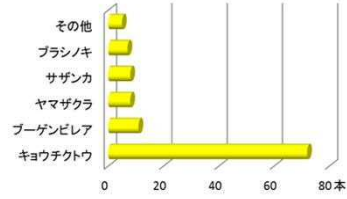
洋木植栽



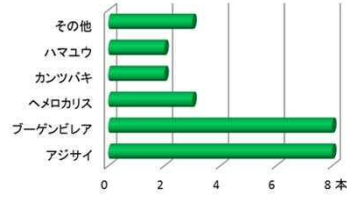
高木植栽



中木植栽



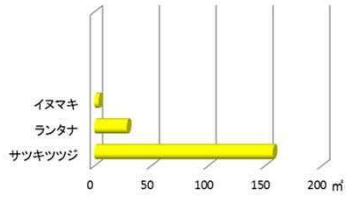
低木植栽



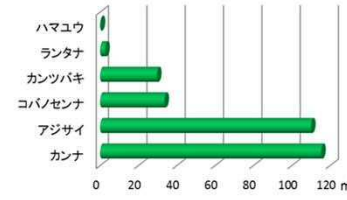
内海加江田線 寄植



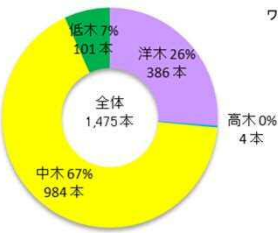
寄植中木



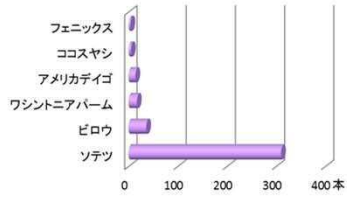
寄植低木



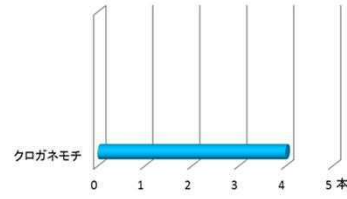
都井岬線 樹木



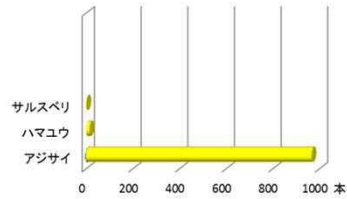
洋木植栽



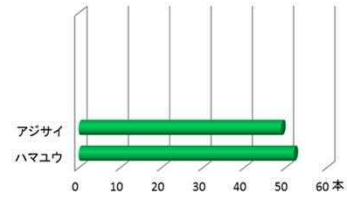
高木植栽



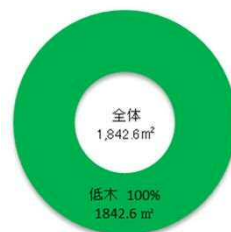
中木植栽



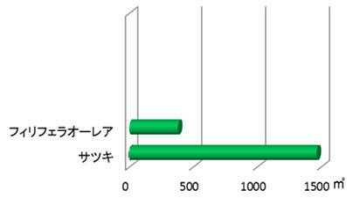
低木植栽



都井岬線 寄植



寄植低木



番号	8	路線名	国道220号、国道448号、 県道内海加江田線、県道都井岬線
修景コンセプト		<p>「日南海岸の原風景と、歴史ある亜熱帯性植物群が調和した、南国情緒あふれる道路修景」</p> <p>本県観光の父 岩切章太郎氏が戦前よりはじめた日南海岸へのフェニックスの植栽をはじめ、大地に絵を描くという理念のもと植栽されてきた様々な花木を基調としながら、本県の沿道修景の顔として、重点的におもてなしを行う区間として、地域における活動との調和も意識した整備と維持管理を行う。</p>	
路線における現状・課題			
<p>(現状・課題1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道220号の宮崎市街地～南バイパス～青島バイパスの区間は、宮崎空港から宮崎市の中心市街地、日南方面の玄関口、及び観光ルートとして機能しているとともに、宮崎を訪れた観光客にとってのシンボリックな景観を作り出している。一方で、中央分離帯の寄植の生長や繁茂により、交通安全上の懸念を生じる恐れがある。 			
<p>(現状・課題2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道220号の宮崎市内海～日南市南郷町の区間は、日南海岸国定公園の一部として、沿線には「鶴戸神宮」「サンメッセ日南」等の観光地が存在し、県を代表する観光ルートとして機能している。一方で、沿道の植栽の生長や、だん竹等の自然の草木の繁茂により、海側の眺望が阻害されている。 			
<p>(現状・課題3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道448号の道の駅なんごう周辺は、道の駅を中心として、ジャカランダ等の亜熱帯性植物を用いた特徴的な修景の取組が行われている。また、道の駅なんごう～都井岬の区間は、地域が主体となったジャカランダやカンナ、ヒオウギ等を用いた特徴的な修景の取組が行われている。 国道448号は、南国情緒あふれる海沿いの風景が魅力の区間であるが、だん竹等の自然の草木の繁茂により、その眺望が阻害されている。 			
<p>(現状・課題4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県道内海加江田線は、宮崎市から「青島」「堀切峠」「道の駅フェニックス」等の観光地へ結ぶ路線であり、古くから県を代表する観光ルートとして機能してきた路線である。一方で、ヤマザクラ等の一部の植栽については、老木化による樹姿の悪化や、倒木・落枝の懸念等が生じてきている。 			
<p>(現状・課題5)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県道都井岬線は、観光地である「都井岬」へつながる路線として、ソテツ等の亜熱帯性植物を主体とした修景が行われているほか、地域によるアジサイ等の植栽活動も行われている。一方で、寄植の老木化による景観の悪化等が生じている。 			
<p>(現状・課題6)</p> <ul style="list-style-type: none"> 植栽樹木の老木化等による樹姿の悪化や倒木・落枝の懸念が生じている。 寄植の生長や繁茂により、交通安全上の懸念を生じる恐れがある。 			

番号	8	路線名	国道220号、国道448号、 県道内海加江田線、県道都井岬線
整備・維持管理方針			<p>(現状・課題1への対応)</p> <p>1. 国道220号の宮崎市街地～南バイパス～青島バイパスの区間については、交通の玄関口及び観光ルートとして、中央分離帯と歩道部の寄植の撤去や植替えを中心としたリニューアル整備を行い、その後は現状と同水準の維持管理を行う。</p> <p>(現状・課題2への対応)</p> <p>2. 国道220号の宮崎市内海～日南市南郷町の区間については、除草や樹木の剪定等を徹底し、美しい景観を保つ維持管理を行うとともに、日南海岸国定公園の風景が眺望できる開放的な区間については、その眺望を妨げないための除草や伐開、及び植栽の撤去を行い、その後は美しい眺望を保つ維持管理を行う。</p> <p>(現状・課題3への対応)</p> <p>3. 国道448号の道の駅なんごう周辺、及びそこから都井岬の間の区間については、地域における取組を活かし協働を推進しながら、除草や樹木の剪定等を徹底し、美しい景観を保つ維持管理を行う。また、南国情緒あふれる海側の風景が眺望できる区間については、その眺望を妨げないための除草や伐開、及び植栽の撤去を行い、その後は美しい景観・眺望を保つ維持管理を行う。</p> <p>(現状・課題4への対応)</p> <p>4. 県道内海加江田線については、県を代表する観光ルートとして、青島や堀切峠等の観光地のイメージとの調和を図りながら、除草や樹木の剪定等を徹底し、美しい景観を保つ維持管理を行うとともに、ヤマザクラ等の植栽の老木化が見られる区間においては、その健全性について評価し、必要に応じて間引きや植替えを行い、その後は美しい景観を保つ維持管理を行う。</p> <p>(現状・課題5への対応)</p> <p>5. 県道都井岬線については、野生馬の生態への配慮と都井岬の観光地のイメージとの調和を図りつつ、地域における取組を活かし協働を意識しながら、除草や樹木の剪定等を徹底し、美しい景観を保つ維持管理を行う。</p> <p>(現状・課題6への対応)</p> <p>6. 上記以外の区間については、植栽の撤去や間引きなど、植栽内容の全般的な見直しを行い、その後の維持管理の効率化を図る。</p>

番号	8	路線名	国道220号、国道448号、 県道内海加江田線、県道都井岬線
----	---	-----	-----------------------------------

整備・維持管理方針

(整備・維持管理方針に基づく対応の例)

1. の対応例 (国道220号)



現状と同水準の維持管理を行う

1. の対応例 (国道220号)



高木は残し、寄植の撤去や植替えを行う

2. の対応例 (国道220号)



間引きを行い眺望を確保する

3. の対応例 (国道448号)



現状と同水準の維持管理を行う

4. の対応例 (県道内海加江田線)



現状と同水準の維持管理を行う

4. の対応例 (県道内海加江田線)



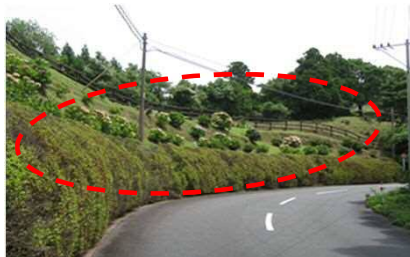
観光地周辺としてのリニューアル整備を行う

5. の対応例 (県道都井岬線)



間引きを行い眺望を確保する

5. の対応例 (県道都井岬線)



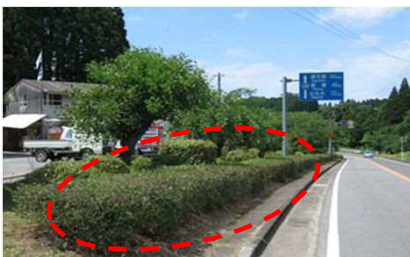
老木の植替えを行う

6. の対応例 (国道448号)



間引きを行う

6. の対応例 (国道220号)



寄植を撤去し芝生等への植替えを行う

6. の対応例 (国道220号)



間引きや植替えを行う

○推進路線個別表

(2/4)

番号	9	路線名	国道222号
----	---	-----	--------

指定地区等一覧

・沿道修景植栽地区
なし

・沿道自然景観地区
なし

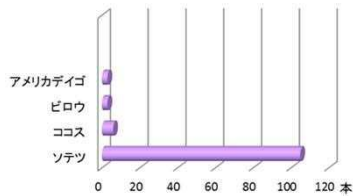
・沿道修景指定樹木
なし

植栽花木現況一覧

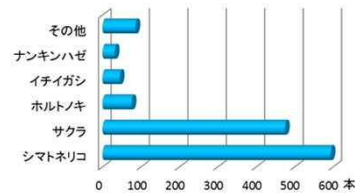
国道222号 樹木



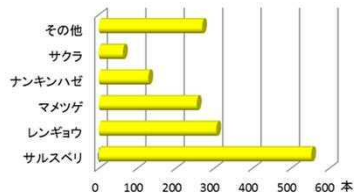
洋木植栽



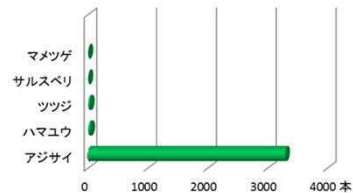
高木植栽



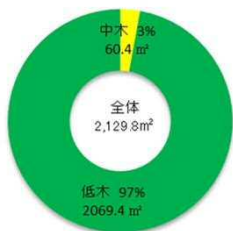
中木植栽



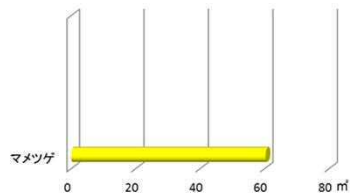
低木植栽



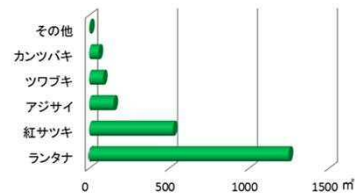
国道222号 寄植



寄植中木



寄植低木



番号

9

路線名

国道222号

修景コンセプト

「港まちから城下まちをぬけ、豊かな山々と河川に包まれた、自然の緑と調和した道路修景」

大型クルーズ船の玄関口としても機能している油津港から、運河をまたぎ城下町を通過し棚田や里山を経て整然と林立する飢肥杉の人工林と天然樹林が織りなす山々に至る、区間ごとに多様な沿道風景を有する区間となっている。

そこで、交通の玄関口となる区間や、市街地の街路樹区間、城下町区間、棚田や里山及び山間部の区間など、それぞれの区間の特徴的な沿道風景を活かしながら、観光客に向けたおもてなしを行う区間として、地域における活動との調和も意識しながら、整備と維持管理を行う。

路線における現状・課題

(現状・課題1)

- ・油津地区～飢肥地区の区間は、大型クルーズ船の玄関口として機能している油津港から市街地を経て城下町の観光地を結ぶ路線として、街路樹や花の植栽を中心とした、市街地における花と緑の創出と保全が行われている。

(現状・課題2)

- ・道の駅酒谷周辺は、自然豊かな山間部と里山を通る区間であるとともに、地域による沿道への植栽活動も積極的に行われており、サクラやアジサイ等の植栽が沿道の魅力の一つとなっている。
- ・一方で、植栽樹木の老木化や繁茂、地域における取組のイメージとの不調和等が生じてきている。

(現状・課題3)

- ・植栽樹木や寄植の繁茂、老木化により、樹姿の悪化、維持管理上の支障等が生じている。

番号	9	路線名	国道222号
----	---	-----	--------

整備・維持管理方針

(現状・課題1への対応)

1. 油津港～油津駅の区間については、電線地中化の事業の進捗に対応しながら、景観に配慮した街路樹の再配置についての検討、整備を行う。
2. 日南駅周辺については、交通の玄関口として、観光客や駅利用者に向けた花壇の整備を行うとともに、市街地区間における街路樹の適切な維持管理を行う。
3. 飢肥地区周辺については、城下町の雰囲気との調和を意識しながら、植栽の撤去や間引き、植替えを行う。

(現状・課題2への対応)

4. 道の駅酒谷周辺については、地域が積極的に推進しているサクラやアジサイ等の花木の植栽活動との調和を図りながら、協働による維持管理を見据えた整備を行うとともに、地域のイメージにそぐわない樹木や老木化した樹木については、積極的に撤去や間引きを行う。

(現状・課題3への対応)

5. 上記以外の区間については、植栽の撤去や間引きなど、植栽内容の全般的な見直しを行い、その後の維持管理の効率化を図る。

(整備・維持管理方針に基づく対応の例)

1. の対応例 (国道222号)



撤去や間引きを行い、現状と同水準の維持管理を行う

2. の対応例 (国道222号)



撤去や間引きを行い、現状と同水準の維持管理を行う

2. の対応例 (国道222号)



撤去や間引きを行い、現状と同水準の維持管理を行う

3. の対応例 (国道222号)



撤去や間引き、植替えを行い、現状と同水準の維持管理を行う

4. の対応例 (国道222号)



間引きを行い、現状と同水準の維持管理を行う

4. の対応例 (国道222号)



地域のイメージにそぐわない植栽は撤去する

○推進路線個別表

(1/6)

番号	10	路線名	県道宮崎空港線、県道宮崎停車場線、 県道宮崎島之内線、県道宮崎インター佐土原線
----	----	-----	--

路線概要

<県道宮崎空港線、県道宮崎停車場線、県道宮崎島之内線、県道宮崎インター佐土原線>
本県の陸・海・空の主要な玄関口と、中心市街地、及び主要な観光地とを結ぶ路線として機能している。

指定地区等位置図



① 植栽地区（宮崎空港線・
県道宮崎空港線）



② 植栽地区（高千穂通り・
県道宮崎停車場線）



③ 植栽地区（楠並木・
県道宮崎島之内線）



④ 植栽地区（一ツ葉海岸
県道宮崎インター佐土原線）

<県道宮崎空港線>

- ・ 除 草 : 年5回
- ・ 寄植剪定・施肥・防除 : 年2回
- ・ 樹木剪定・施肥・防除 : 年2回

<県道宮崎島之内線>

- ・ 除 草 : 年2回
- ・ 寄植剪定・施肥・防除 : 年2回
- ・ 樹木剪定・施肥・防除 : 年1回

<県道宮崎停車場線>

- ・ 除 草 : 年3回
- ・ 寄植剪定・施肥・防除 : 年2回
- ・ 樹木剪定・施肥・防除 : 年1～2回

<県道宮崎インター佐土原線>

- ・ 除 草 : 年2回
- ・ 寄植剪定・施肥・防除 : 年2回
- ・ 樹木剪定・施肥・防除 : 年1～2回

○推進路線個別表

(2/6)

番号	10	路線名	県道宮崎空港線、県道宮崎停車場線、 県道宮崎島之内線、県道宮崎インター佐土原線
----	----	-----	--

指定地区等一覧

・沿道修景植栽地区

路線名	番号	名称	位置	修景用植物の種類 【指定時】	植栽延長(m) 【指定時】			植栽延長(m) 【現況】			指定 年月
					左側	右側	合計	左側	右側	合計	
(主) 宮崎空港線	①	宮崎空港線	宮崎市大字田吉津和田地内	ワシトニアハム・ サゴシトウヒの	630	630	1,260	630	630	1,260	H25.12
(主) 宮崎停車場線	②	高千穂通り	宮崎市高千穂通 //	クスノキ・フェニクス	700	700	1,400	700	700	1,400	H25.12
(主) 宮崎島之内線	③	楠並木	宮崎市橋通 //	クスノキ	200	200	400	200	200	400	H25.12
(主) 宮崎インター 佐土原線	④	一ツ葉海岸	宮崎市吉村町地内 // 佐土原町下那珂地内	ワシトニアハム・ カボツ・ツバキハ イほか	11,200	11,200	22,400	11,200	11,200	22,400	S55.6

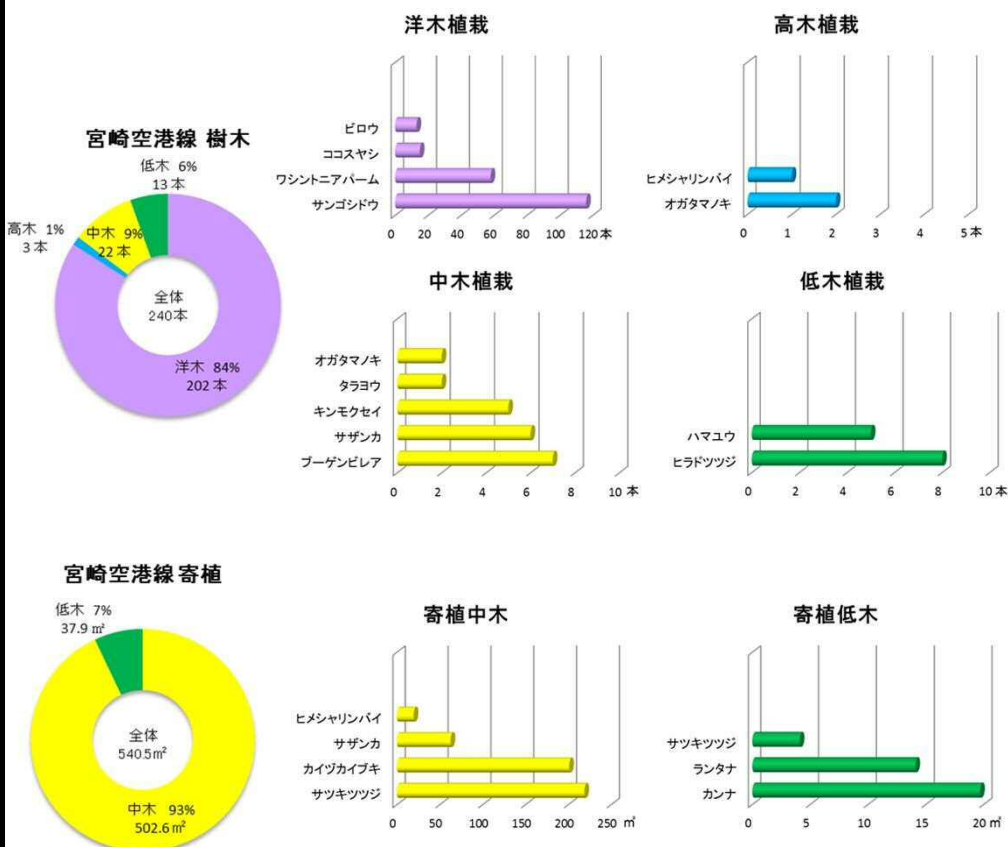
・沿道自然景観地区

なし

・沿道修景指定樹木

なし

植栽花木現況一覧



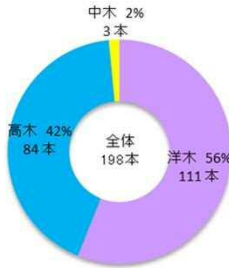
○推進路線個別表

(3/6)

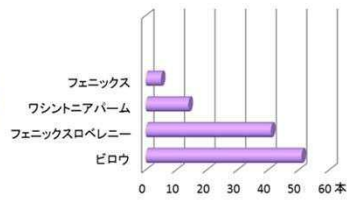
番号	10	路線名	県道宮崎空港線、県道宮崎停車場線、 県道宮崎島之内線、県道宮崎インター佐土原線
----	----	-----	--

植栽花木現況一覧

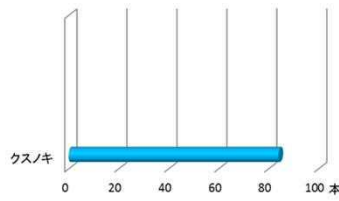
宮崎停車場線 樹木



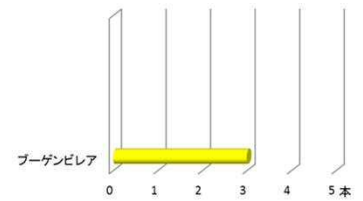
洋木植栽



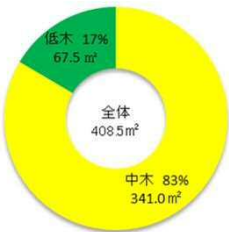
高木植栽



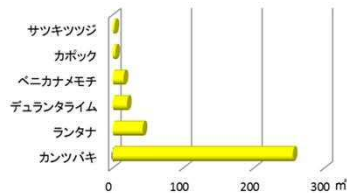
中木植栽



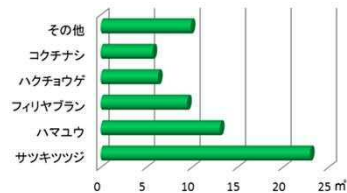
宮崎停車場線 寄植



寄植中木



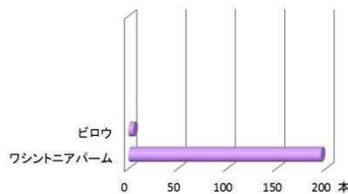
寄植低木



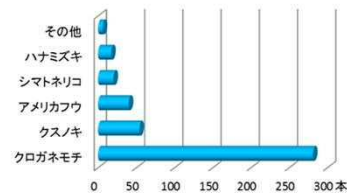
宮崎島之内線 樹木



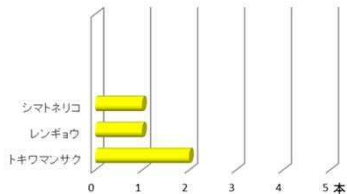
洋木植栽



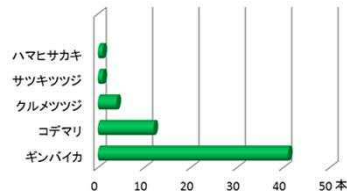
高木植栽



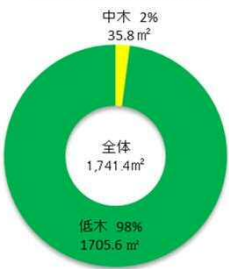
中木植栽



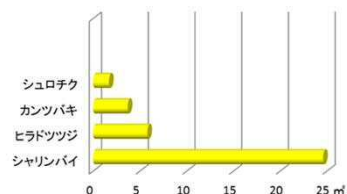
低木植栽



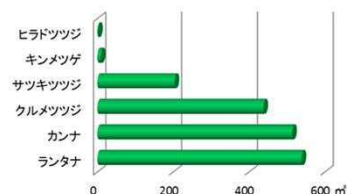
宮崎島之内線 寄植



寄植中木



寄植低木

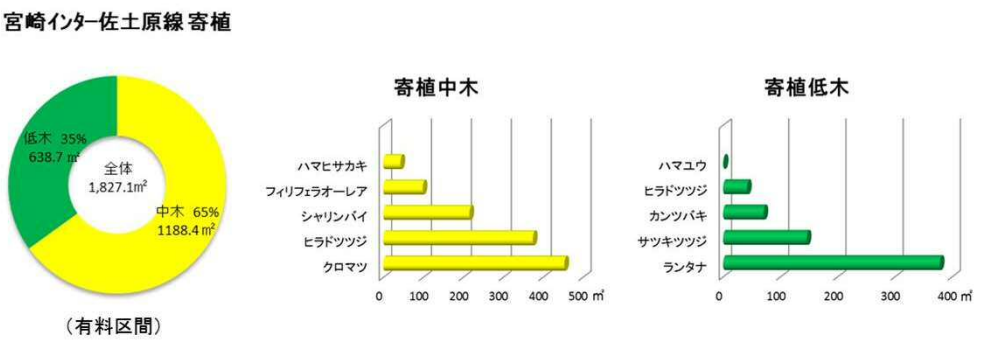
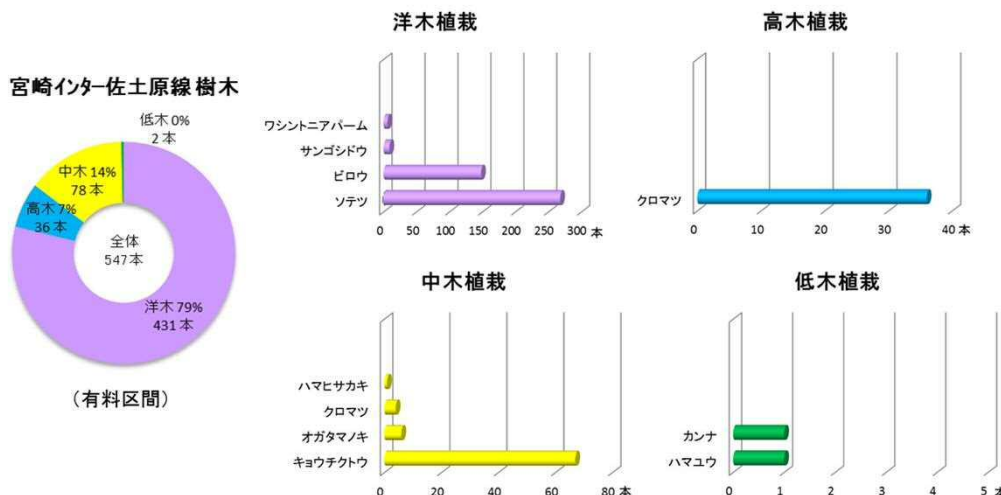
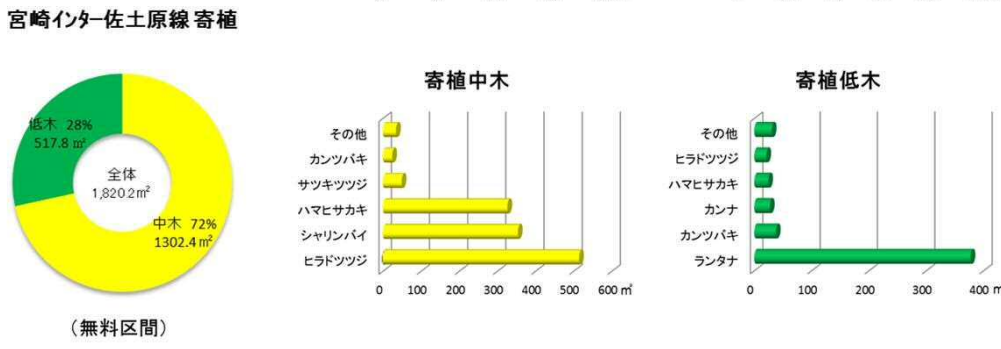
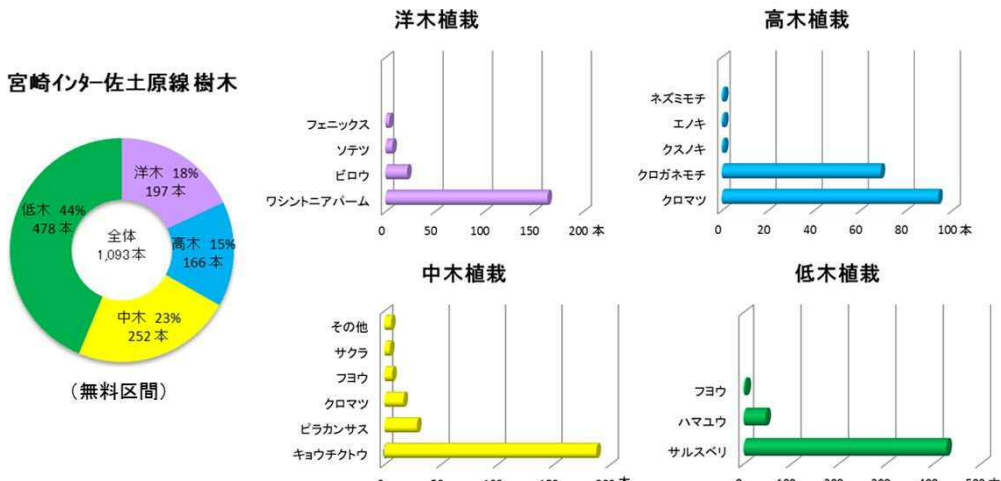


○推進路線個別表

(4/6)

番号	10	路線名	県道宮崎空港線、県道宮崎停車場線、 県道宮崎島之内線、県道宮崎インター佐土原線
----	----	-----	--

植栽花木現況一覧



番号	10	路線名	県道宮崎空港線、県道宮崎停車場線、 県道宮崎島之内線、県道宮崎インター佐土原線
修景コンセプト		<p style="text-align: center;">「宮崎の玄関口として、南国情緒を醸し出す道路修景」</p> <p>高速自動車道や港湾、空港といった陸海空の玄関口へとつながる、県都宮崎の幹線道路として機能している区間である。</p> <p>そこで、ワシントニアパームやクスノキ等の歳月をかけて育まれてきた植栽樹木と、ブーゲンビリアや女王ヤシ等の、植栽地区のリニューアル等を経て新たに植栽されてきた花木との調和を図りながら、<u>本県の沿道修景の顔として、重点的におもてなしを行う区間</u>として、地域における活動との調和も意識しながら、重点的に整備と維持管理を行う。</p>	
路線における現状・課題			
<p>(現状・課題1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県道宮崎空港線、県道宮崎停車場線は、宮崎空港や宮崎港の交通の玄関口から、宮崎の中心市街地を結ぶ路線として機能しており、宮崎の顔としておもてなしの修景に努めているとともに、地域による沿道への植栽活動等も積極的に行われている。 			
<p>(現状・課題2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県道宮崎島之内線は、宮崎市の中心市街地内を通過する路線として機能しており、中心市街地における花と緑の創出と保全に努めている。一方で、植栽の高木化や老木化、繁茂等による交通安全上の懸念の恐れや、維持管理上の支障が生じている。 			
<p>(現状・課題3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県道宮崎インター佐土原線は、宮崎港周辺～佐土原町の海岸線と松林の風景の中を通過する路線であり、「シーガイア」「マリーナ」等の観光地やレジャースポットにも隣接しているとともに、宮崎港や宮崎JCTにも連絡している、交通・物流・観光上の重要な区間である。平成32年には通行料金の無料化が予定されており、路線の交通量は今後さらに増加していく見込みである。 一方で、中央分離帯や歩道部の寄植の生長や繁茂により、交通安全上の懸念の恐れや、維持管理上の支障が生じている。 			
<p>(現状・課題4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 植栽樹木の高木化や老木化により、樹姿の悪化や倒木・落枝の懸念、維持管理上の支障が生じている。 寄植の生長や繁茂により、交通安全上の懸念を生じる恐れがある。 			

番号	10	路線名	県道宮崎空港線、県道宮崎停車場線、 県道宮崎島之内線、県道宮崎インター佐土原線
----	----	-----	--

整備・維持管理方針

(現状・課題1への対応)

1. 県道宮崎空港線、県道宮崎停車場線については、交通の玄関口として、地域における取組を意識し協働を推進しながら、除草や剪定等を徹底し、美しい景観を保つ維持管理を行う。

(現状・課題2への対応)

2. 県道宮崎島之内線については、宮崎中心市街地の路線として、花と緑の確保を意識し、沿道の景観や土地利用との調和を図りながら、植栽の植替えや撤去など植栽内容の全般的な見直しを行い、その後は現状と同水準の維持管理を行う。

(現状・課題3への対応)

3. 県道宮崎インター佐土原線については、中央分離帯と歩道部の寄植を中心に植替えや間引き、撤去等の見直しを行い、その後は現状と同水準の維持管理を行う。また、海岸線や松林の風景が眺望できる開放的な区間については、その眺望を妨げないための除草や伐開、及び植栽の撤去を行い、その後は美しい眺望を保つ維持管理を行う。

(現状・課題4への対応)

4. 上記以外の区間については、植栽の撤去や間引きを含めた植栽内容の全般的な見直しを行い、その後の維持管理の効率化を図る。

(整備・維持管理方針に基づく対応の例)

1. の対応例 (県道宮崎空港線)



現状と同水準の維持管理を行う

1. の対応例 (県道宮崎停車場線)



現状と同水準の維持管理を行う

2. の対応例 (県道宮崎島之内線)



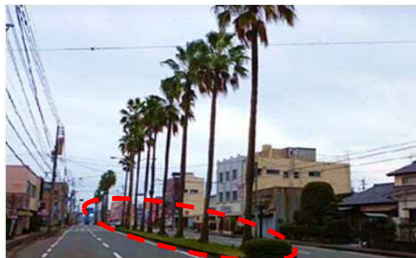
現状と同水準の維持管理を行う

2. の対応例 (県道宮崎島之内線)



間引きや植替えを行う

2. の対応例 (県道宮崎島之内線)



高木は残し、寄植の撤去や植替えを行う

3. の対応例 (県道宮崎インター佐土原線)



高木は残し、寄植の撤去や植替えを行う

○推進路線個別表

(1/6)

番号	11	路線名	国道10号、国道269号（宮崎市～鹿児島県境）
----	----	-----	-------------------------

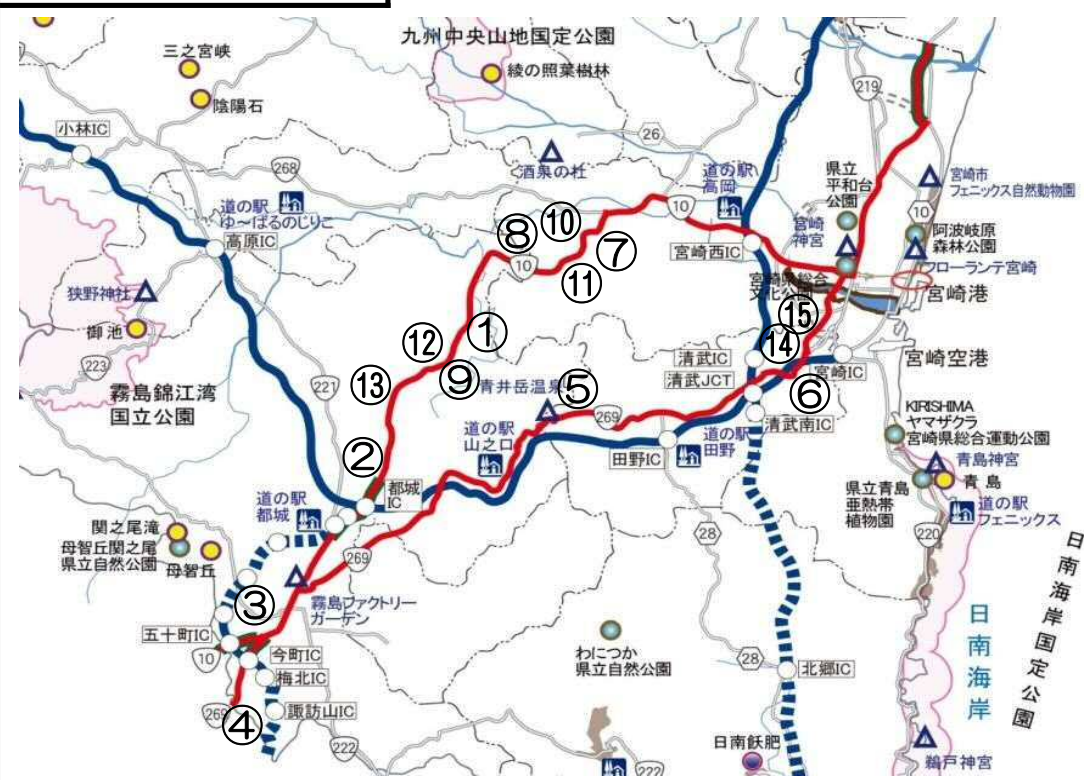
路線概要

＜国道10号、国道269号（宮崎市～鹿児島県境）＞

国道10号、269号ともに、本県と鹿児島県を結ぶ連絡道路であり、地域のくらしや物流を支える主要路線として機能してきたほか、防災上も重要な役割を担っている。

区間延長が長く、市街地から田園地区、丘陵地と変化に富んだ沿道環境を持ち、修景状況も区間ごとに様々であるが、老木化や繁茂により本来の植栽地区としての姿が損なわれている箇所や、歩道周辺の植栽が交通安全上の懸念を生じる恐れがある箇所もあるため、現状を踏まえた見直しが必要な区間である。

指定地区等位置図



③ 植栽地区（平長谷・国道10号）



⑦ 自然景観地区（浦之名・国道10号）



⑧ 自然景観地区（去川・国道10号）

＜国道10号＞

- ・除 草：年3回（高岡町～市境）
- ・除 草：年2回（市境～県境）
- ・寄植剪定・施肥・防除：年1回
- ・樹木剪定・施肥・防除：年1回

＜国道269号＞

- ・除 草：年2回
- ・寄植剪定・施肥・防除：年2回
- ・樹木剪定・施肥・防除：年2回（県境～市境）
- ・樹木剪定・施肥・防除：年1回（市境～宮崎市）

※国道10号は県管理区間における管理状況を示す

○推進路線個別表

(2/6)

番号	11	路線名	国道10号、国道269号（宮崎市～鹿児島県境）
----	----	-----	-------------------------

指定地区等一覧

・沿道修景植栽地区

路線名	番号	名称	位置	修景用植物の種類 【指定時】	植栽延長(m) 【指定時】			植栽延長(m) 【現況】			指定 年月
					左側	右側	合計	左側	右側	合計	
国道10号	①	四家	都城市高城町大字四家字裏野地内	ツツバ	200	0	200	200	0	200	S45.2
国道10号	②	高城 バイパス	都城市高城町穂満坊地内 // 桜木高城バイパス地内	カケ	2,200	2,200	4,400	550	500	1,050	S49.7
国道10号	③	平長谷 (ひらはせ)	都城市大字平長谷地内	ビラカサ・シギヨク・ カスミ・リ・ツツバ ほか	1,300	600	1,900	600	360	960	S53.7
国道269号	④	一里塚	都城市今町地内	サカキ・カバノハ ほか	900	1,300	2,200	450	500	950	S54.7
国道269号	⑤	南畑 荷取地	宮崎市田野町乙字南畑地内 // 字荷取地地内	ツツバ・モッコク・ ササキ ほか	403	506	909	403	506	909	S61.2
国道269号	⑥	加納	宮崎市清武町大字加納字橋渡地先 // 字屋敷下地先	サカキ	47	143	190	47	143	190	S61.2

・沿道自然景観地区

路線名	番号	名称	区域	面積 (ha)	特徴	指定 年月
国道10号	⑦	浦之名	宮崎市高岡町浦之名の一部	53.80	広葉樹林 美	S47.6
国道10号	⑧	去川・本八重	宮崎市高岡町内山字去川の一部 都城市高城町四家本八重の一部	252.50	田園風景 と河川美	S45.2
国道10号	⑨	岳野川溪谷	都城市高城町四家字裏の一部 都城市高城町有水字七瀬谷の一部	20.60	河川美と 広葉樹林	S45.2

・沿道修景指定樹木

路線名	番号	樹種	位置	本数	指定 要旨	指定 年月
国道10号	⑩	ヤマザシ	宮崎市高岡町内山字浦之名地内	1	開花美	S45.2
国道10号	⑪	イチョウ	宮崎市高岡町内山地内	1	古木	S47.6
国道10号	⑫	カシ	都城市高城町有水字七瀬谷地内	1	樹姿美	S45.2
国道10号	⑬	イナガキ	都城市高城町石山字中方地区	1	古木	S45.2
国道269号	⑭	カシ	宮崎市清武町大字加納地内	1	樹姿美	S49.7
国道269号	⑮	カシ	宮崎市恒久上恒久地内	1	樹姿美	S49.7

○推進路線個別表

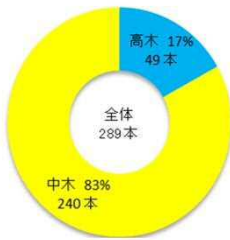
(3/6)

番号	11	路線名	国道10号、国道269号（宮崎市～鹿児島県境）
----	----	-----	-------------------------

植栽花木現況一覧

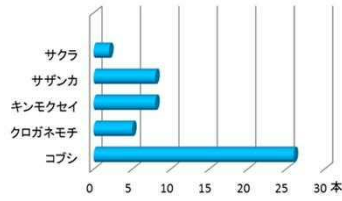
※国道10号は県管理区間における植栽状況を示す。

国道10号 樹木

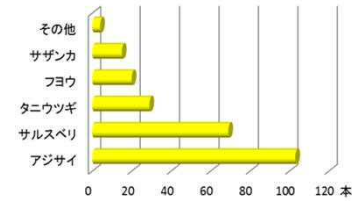


(宮崎市高岡町)

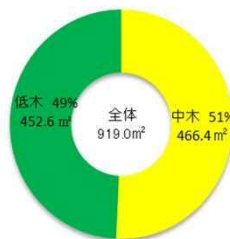
高木植栽



中木植栽

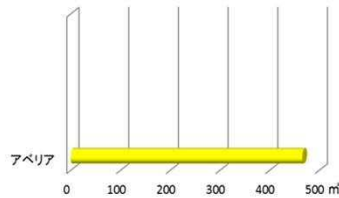


国道10号 寄植

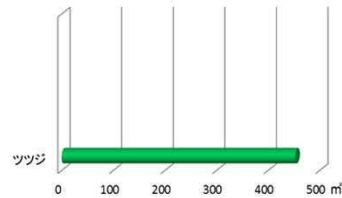


(宮崎市高岡町)

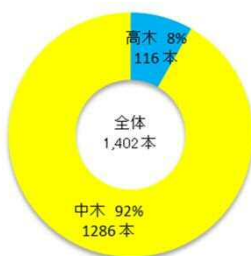
寄植中木



寄植低木

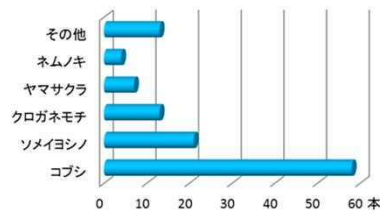


国道10号 樹木

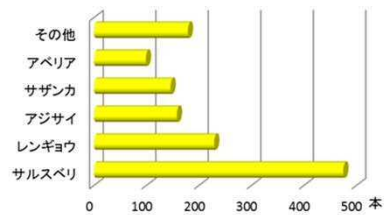


(都城市)

高木植栽



中木植栽

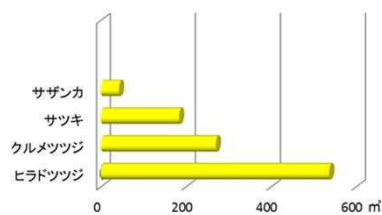


国道10号 寄植

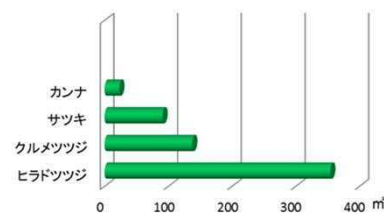


(都城市)

寄植中木



寄植低木



○推進路線個別表

(4/6)

番号 11 路線名 国道10号、国道269号（宮崎市～鹿児島県境）

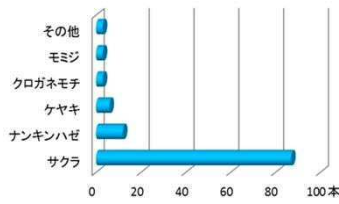
植栽花木現況一覧

国道269号 樹木

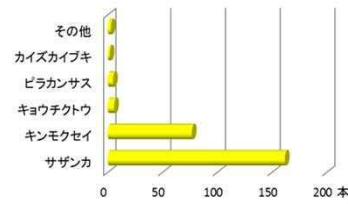


(宮崎市)

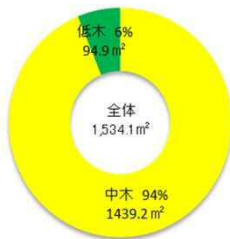
高木植栽



中木植栽

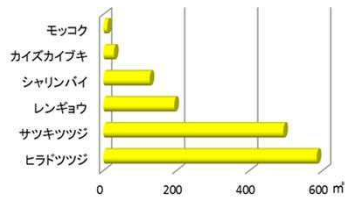


国道269号 寄植

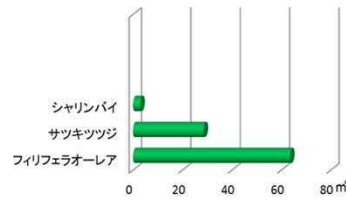


(宮崎市)

寄植中木



寄植低木

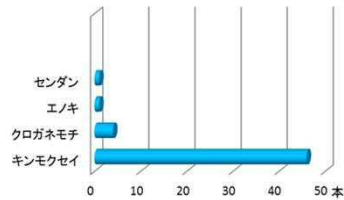


国道269号 樹木

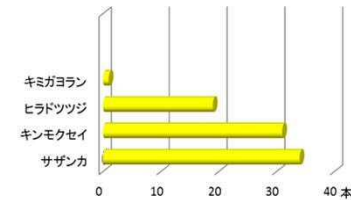


(都城市)

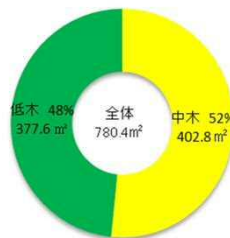
高木植栽



中木植栽

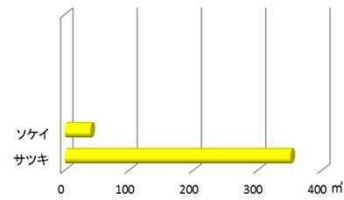


国道269号 寄植

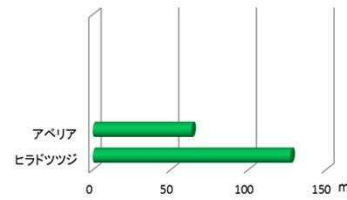


(都城市)

寄植中木



寄植低木



番号	11	路線名	国道10号、国道269号（宮崎市～鹿児島県境）
----	----	-----	-------------------------

修景コンセプト

「県央と県西の都市を結ぶ、市街地での緑の保全と、里山や田園風景と調和した道路修景」

市街地から田園地区、丘陵地と変化に富んだ沿道環境の中で、沿道修景植栽地区における花木の植栽による修景を行ってきたが、一部では樹木の老木化や繁茂による景観の悪化や維持管理上の支障、交通安全上の懸念の恐れ等も生じてきている。

そこで、歳月をかけて育ててきた植栽地区の規模及び内容について、周辺の景観や土地利用と調和するよう見直すとともに健全な状態に保ち、通行する自動車の目線から四季の花の彩りを楽しむことのできる区間として、及び、市街地において通行する自動車及び歩行者に向けた花と緑を確保する区間として、整備と維持管理を行う。

路線における現状・課題

（現状・課題1）

- ・ 国道10号の宮崎市街地～国道268号の分岐の区間は、特に交通量の多い区間であるとともに、寄植えの老木化や繁茂により、交差点部や歩道部における交通安全上の懸念を生じる恐れがある。

（現状・課題2）

- ・ 国道269号の道の駅山之口周辺は、サクラやアジサイ等の植栽が沿道の魅力の一つとなっているが、植栽の老木化や生長による樹姿の悪化、過密化等が生じている。

（現状・課題3）

- ・ 国道10号、269号ともに、宮崎県と鹿児島県を結ぶ主要路線として、一定の交通量が維持されており、県境部周辺は、鹿児島県との交通の玄関口として機能している。

（現状・課題4）

- ・ 自然景観地区や、河川風景、田園風景等が眺望できる区間において、道路改良や河川改修による道路構造の変化や、植栽樹木の生長や自然の草木の繁茂により、眺望が阻害されている。

（現状・課題5）

- ・ 植栽樹木の高木化や老木化により、樹姿の悪化、倒木や落枝の懸念、維持管理上の支障等が生じている。
- ・ 寄植の生長や繁茂により、交通安全上の懸念を生じる恐れがある。

番号	11	路線名	国道10号、国道269号（宮崎市～鹿児島県境）
----	----	-----	-------------------------

整備・維持管理方針

（現状・課題1への対応）

1. 国道10号の宮崎市街地～国道268号の分岐までの区間については、交通安全上の懸念を生じる恐れのある植栽は撤去するとともに、市街地における花と緑の保護を意識しながら、歩道部の寄植をはじめ、植栽内容を全般的に見直し、その後の維持管理の省力化を図る。

（現状・課題2への対応）

2. 国道269号の道の駅山之口周辺については、老木化が見られるサクラについて、その健全性について評価し、必要に応じて間引きや植替えを行うとともに、それ以外の植栽については、植物の特性に配慮し周辺景観と調和した配置・間隔となるよう間引きや切戻しを行い、その後は美しい景観を保つ維持管理を行う。

（現状・課題3への対応）

3. 県境部周辺については、交通の玄関口として、植栽地区の新設またはリニューアル整備を行い、その後は美しい景観を保つ維持管理を行う。

（現状・課題4への対応）

4. 河川や田園の風景が眺望できる開放的な区間については、その眺望を妨げないための除草や伐開、及び植栽の撤去を行い、その後は美しい眺望を保つ維持管理を行う。また、道路構造の変化等により従前の眺望が望めない区間については、新たな眺望ポイントについての検討を行う。

（現状・課題5への対応）

5. 上記以外の区間については、植栽の撤去や間引きなど、植栽内容の全般的な見直しを行い、その後の維持管理の効率化を図る。

（整備・維持管理方針に基づく対応の例）

1. の対応例（国道10号）



撤去や間引き、自然樹形での維持管理を行う

2. の対応例（国道269号）



間引きや植替えを行う

3. の対応例（国道10号）



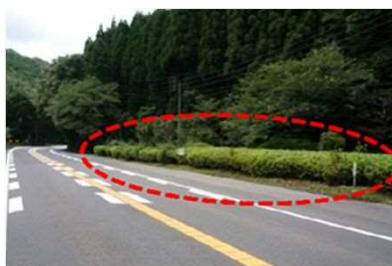
玄関口としてのリニューアル整備を行う

4. の対応例（国道10号）



除草や伐開を行う

5. の対応例（国道10号）



植替えや撤去を行う

5. の対応例（国道269号）



撤去や間引き、自然樹形での維持管理を行う

○推進路線個別表

(2/4)

番号	12	路線名	国道221号（熊本県境～都城市）
----	----	-----	------------------

指定地区等一覧

・沿道修景植栽地区

路線名	番号	名称	位置	修景用植物の種類【指定時】	植栽延長(m)【指定時】			植栽延長(m)【現況】			指定年月
					左側	右側	合計	左側	右側	合計	
国道221号	①	茶屋平西ノ原	えびの市茶屋平地内 小林市西ノ原地内	サトウハチロー・ササキ・ササキ	1,450	1,100	2,550	1,860	1,490	3,350	S54.7
国道221号	②	前田入口 柏ノ木	都城市高崎町前田地内	ハナツバキ・カガ	600	900	1,500	50	40	90	S47.6
国道221号	③	上水流 高木	都城市大字上水流地内 // 大字高木地内	ササキ	1,300	1,450	2,750	850	1,300	2,150	S47.6

・沿道自然景観地区

路線名	番号	名称	区域	面積 (ha)	特徴	指定年月
国道221号	④	西ノ原	小林市大字北西方字西ノ原の一部 小林市大字北西方字橋谷の一部	58.80	松並木、田圃田 溝及び田舎山 眺望地	S45.2
国道221号	⑤	加久藤	えびの市大字東川北字黒原 えびの市大字東川北字彦山	35.10	霧島連山 眺望美	S54.7

・沿道修景指定樹木

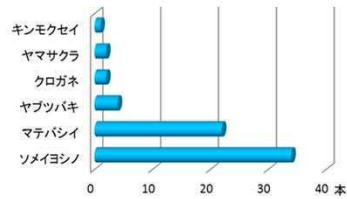
路線名	番号	樹種	位置	本数	指定要旨	指定年月
国道221号	⑥	スズク	小林市堤地内	1	古木	S54.7
国道221号	⑦	ミ	西郷県郡高原町上柳町地内	2	樹姿美	S48.5
国道221号	⑧	ササキ	都城市高崎町前田谷川地内	1	開花美	S48.5
国道221号	⑨	ササキ	都城市高崎町大牟田平地内	1	樹姿美	S48.5

植栽花木現況一覧

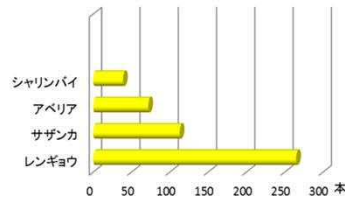
国道221号 樹木



高木植栽



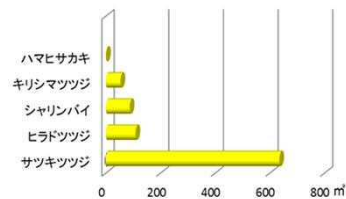
中木植栽



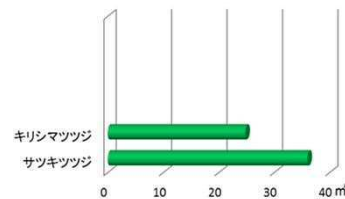
国道221号 寄植



寄植中木



寄植低木



番号

12

路線名

国道221号（熊本県境～都城市）

修景コンセプト

「霧島連山を臨む雄大な自然風景と、地域の営みの風景と調和した道路修景」

霧島連山を近傍、遠望に望む路線として、雄大な自然の風景と、地域の営みが創り出す暮らしの風景をそれぞれ有する区間となっている。

そこで、これらの固有の風景の道路からの眺望を確保し、通行する自動車の目線から沿道の風景を楽しむことのできる区間として、整備と維持管理を行う。

路線における現状・課題

（現状・課題1）

- ・交通量は減少傾向にあるものの、宮崎県と熊本県を結ぶ主要路線として一定量は維持されており、県境部周辺は、熊本県との交通の玄関口として機能している。

（現状・課題2）

- ・区間全体を通して霧島連山の風景を眺望できる路線であるが、周辺の土地利用の変化や、植栽樹木の生長や自然の草木の繁茂により、眺望が阻害されている。

（現状・課題3）

- ・植栽樹木の高木化や老木化により、樹姿の悪化、倒木や落枝の懸念、維持管理上の支障等が生じている。
- ・寄植の生長や繁茂により、交通安全上の懸念を生じる恐れがある。

番号	12	路線名	国道221号（熊本県境～都城市）
----	----	-----	------------------

整備・維持管理方針

（現状・課題1への対応）

1. 県境部周辺については、交通の玄関口として、植栽地区の新設またはリニューアル整備を行い、その後は美しい景観を保つ維持管理を行う。

（現状・課題2への対応）

2. 霧島連山の風景が眺望できる開放的な区間については、その眺望を妨げないための除草や伐開、及び植栽の撤去を行い、その後は美しい眺望を保つ維持管理を行う。また、周辺の土地利用の変化により従前の眺望が望めない区間については、新たな眺望ポイントについての検討を行う。

（現状・課題3への対応）

3. 上記以外の区間については、植栽の撤去や間引きなど、植栽内容の全般的な見直しを行い、その後の維持管理の効率化を図る。

（整備・維持管理方針に基づく対応の例）

1. の対応例（国道221号）



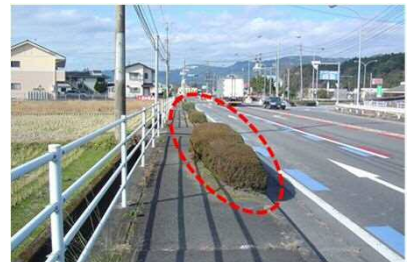
玄関口としてのリニューアル整備を行う

2. の対応例（国道221号）



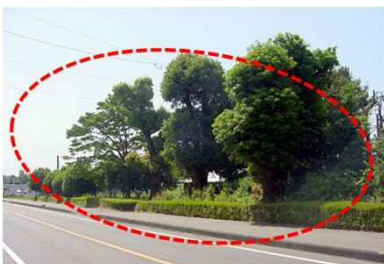
除草や伐開を行う

3. の対応例（国道221号）



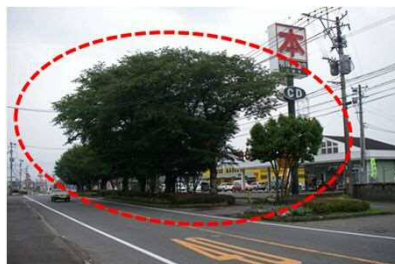
撤去や間引き、切戻しを行う

3. の対応例（国道221号）



撤去や間引き、切戻しを行う

3. の対応例（国道221号）



撤去や間引き、切戻しを行う

3. の対応例（国道221号）



撤去や間引き、切戻しを行う

○推進路線個別表

(1/5)

番号	13	路線名	国道268号（鹿児島県境～宮崎市高岡町）
----	----	-----	----------------------

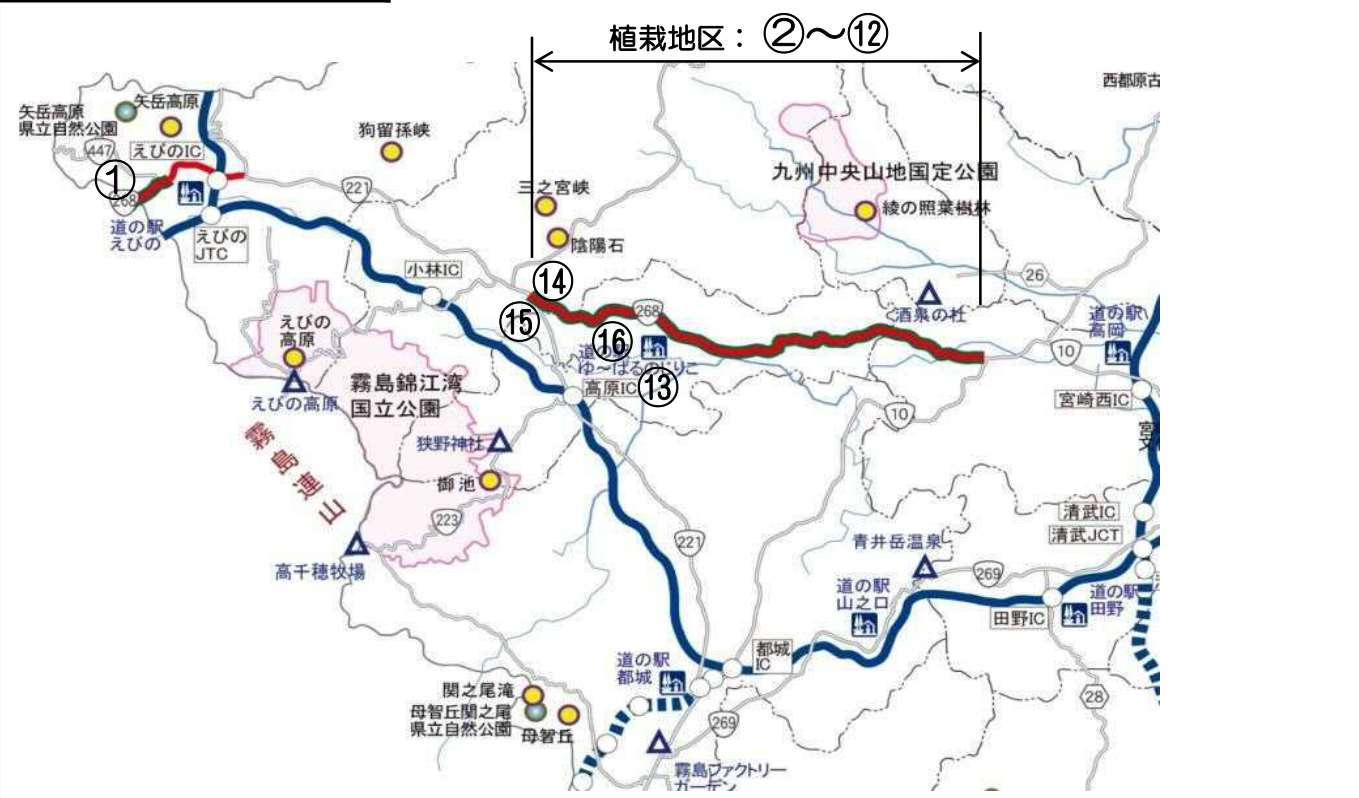
路線概要

<国道268号>

宮崎市高岡町から野尻町・小林市・えびの市、鹿児島県湧水町を経て熊本県水俣市へ至る路線で、県央部から県西部へと横断する地域の主要幹線道路として機能している。

県央と県西の観光地間を結ぶ観光ルートとして、季節の花木を用いた修景を各区間において行ってきたが、老木化や繁茂により本来の植栽地区としての姿が損なわれている箇所や、市街地の歩道周辺の植栽が交通上の支障となっている箇所もあるため、現状を踏まえた見直しが必要な区間である。

指定地区等位置図



植栽地区（梁瀬・国道268号）



自然景観地区（野尻湖・国道268号）



自然景観地区（瀬戸ノ口・国道268号）

<国道268号>

- ・ 除 草 : 年2～3回
- ・ 寄植剪定・施肥・防除 : 年1～2回
- ・ 樹木剪定・施肥・防除 : 年1回

○推進路線個別表

(2/5)

番号	13	路線名	国道268号（鹿児島県境～宮崎市高岡町）
----	----	-----	----------------------

指定地区等一覧

・沿道修景植栽地区

路線名	番号	名称	位置	修景用植物の種類 【指定時】	植栽延長(m) 【指定時】			植栽延長(m) 【現況】			指定 年月
					左側	右側	合計	左側	右側	合計	
国道268号	①	亀沢	えびの市大字亀沢地内	コア・サリカ・ レンギョウ・ツツジ ほか	200	100	300	280	340	620	S53.7
国道268号	②	水流迫	小林市水流迫地内	ムギ	1,000	1,300	2,300	600	200	800	S47.6
国道268号	③	瀬戸口 岩瀬	小林市野尻町大字瀬戸口地内 // 大字岩瀬地内	クチナシ・トウモロコシ・ シモツクシ・ハズカ	395	150	545	310	350	660	S47.6
国道268号	④	野々崎 西原	小林市野尻町三ヶ野山字野々崎地内 // 字西原地内	ヨドガクツツジ	900	1,000	1,900	900	1,000	1,900	S47.6
国道268号	⑤	野々崎	小林市野尻町三ヶ野山字野々崎地内	サリカ	300	250	550	300	250	550	S45.2
国道268号	⑥	大脇	小林市野尻町大字野尻字大脇地内	サリカ	0	250	250	0	50	50	S45.2
国道268号	⑦	東麓	小林市野尻町大字東麓地内	レンギョウ	2,310	1,975	4,285	1,240	870	2,110	S52.6
国道268号	⑧	石瀬戸	小林市野尻町大字石瀬戸地内	クチナシ・ツバキ・ ヒザギ・クサギ	109	82	191	109	82	191	S47.6
国道268号	⑨	今別府	小林市野尻町大字紙屋字今別府地内	コア・サリカ・ ササ	100	0	100	50	150	200	S45.2
国道268号	⑩	紙屋	小林市野尻町大字紙屋字旧町地内	コア	300	150	450	190	180	370	S45.2
国道268号	⑪	田之平 新村	小林市野尻町大字紙屋新村地内 宮崎市高岡町浦之名田之平地内	コア・ヤマザシ・ サ	660	550	1,210	1,595	1,210	2,805	S45.2
国道268号	⑫	梁瀬	宮崎市高岡町大字梁瀬地内 // 法ヶ代地内	クチナシ・トウモロコシ・ ラクウショウ・ハズカ ほか	875	495	1,370	335	190	525	S47.6

・沿道自然景観地区

路線名	番号	名称	区域	面積 (ha)	特徴	指定 年月
国道268号	⑬	野尻湖	小林市野尻町大字東麓字天ヶ谷の一部 小林市野尻町大字東麓字丸岡の一部	91.90	湖沼類	S45.2
国道268号	⑭	瀬戸ノ口	小林市野尻町大字三ヶ野山字瀬戸ノ口の一部	24.40	霧島連山 眺望地	S45.2
国道268号	⑮	岩瀬	小林市野尻町大字三ヶ野山字瀬戸ノ口の一部 小林市大字堤字岩瀬の一部	17.50	田舎風情、河川 および霧島連山 眺望地	S45.2

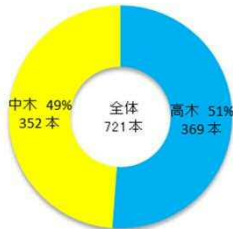
・沿道修景指定樹木

路線名	番号	樹種	位置	本数	指定 要旨	指定 年月
国道268号	⑯	スギ	小林市野尻町東麓地内	1	古木	S50.6

番号 13 路線名 国道268号 (鹿児島県境～宮崎市高岡町)

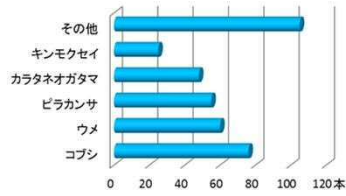
植栽花木現況一覧

国道268号 樹木

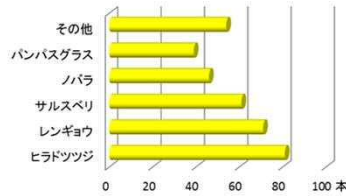


(宮崎市高岡町)

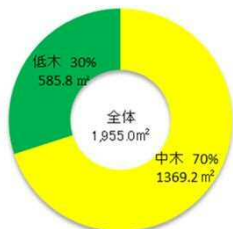
高木植栽



中木植栽

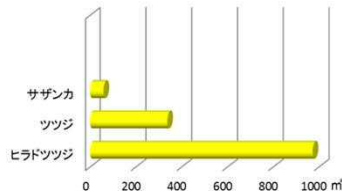


国道268号 寄植

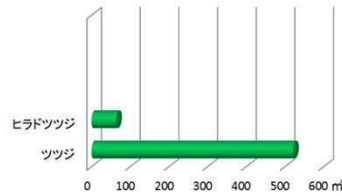


(宮崎市高岡町)

寄植中木



寄植低木

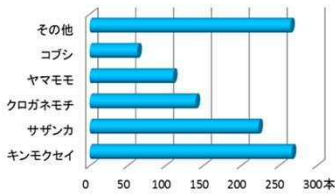


国道268号 樹木

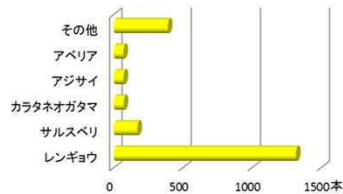


(小林市)

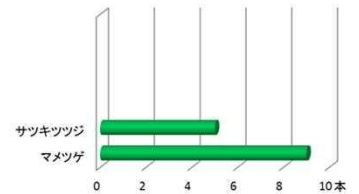
高木植栽



中木植栽



低木植栽

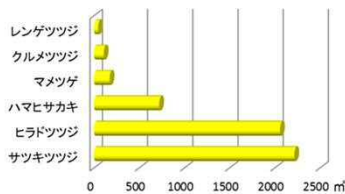


国道268号 寄植

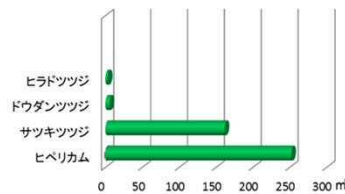


(小林市)

寄植中木



寄植低木



番号

13

路線名

国道268号（鹿児島県境～宮崎市高岡町）

修景コンセプト

「霧島連山を臨む雄大な自然風景と、地域の営みの風景と調和した道路修景」

霧島連山を近傍、遠望に望む路線として、雄大な自然の風景と、地域の営みが創り出す暮らしの風景をそれぞれ有しており、その中で、沿道修景植栽地区における花木の植栽による修景を行ってきた区間であるが、一部では自然植物や植栽樹木の繁茂による眺望の阻害や、老木化等による景観の悪化や維持管理上の支障、交通安全上の懸念の恐れ等も生じてきている。

そこで、路線固有の風景の道路からの眺望を確保し、通行する自動車の目線から沿道の景観を楽しむことのできる区間として、及び、歳月をかけて育んできた植栽地区の花木について、周辺景観や土地利用と調和するよう見直すとともに健全な状態に保ち、通行する自動車の目線から四季の花の彩りを楽しむことのできる区間として、整備と維持管理を行う。

路線における現状・課題

（現状・課題1）

- ・「道の駅ゆ～ぱるのじり」「のじりこぴあ」「萩の茶屋」等、沿線には複数の観光地や名所が存在し、毎年多くの観光客が利用する路線となっている。

（現状・課題2）

- ・野尻湖や霧島連山等の風景を眺望できる路線であるが、周辺の土地利用の変化や、植栽樹木の生長や自然の草木の繁茂により、眺望が阻害されている。

（現状・課題3）

- ・植栽樹木の高木化や老木化により、樹姿の悪化、倒木や落枝の懸念、維持管理上の支障等が生じている。
- ・寄植の生長や繁茂により、交通安全上の懸念を生じる恐れがある。

番号	13	路線名	国道268号（鹿児島県境～宮崎市高岡町）
----	----	-----	----------------------

整備・維持管理方針

（現状・課題1への対応）

1. 道の駅ゆ〜ぱるのじり、のじりこびあ、及び萩の茶屋周辺については、観光地周辺の道路として、観光地のイメージとの調和を図りながら、植栽地区の新設またはリニューアル整備を行い、その後は美しい景観を保つ維持管理を行う。

（現状・課題2への対応）

2. 野尻湖や霧島連山等の風景が眺望できる開放的な区間については、その眺望を妨げないための除草や伐開、及び植栽の撤去を行い、その後は美しい眺望を保つ維持管理を行う。また、周辺の土地利用の変化により従前の眺望が望めない区間については、新たな眺望ポイントについての検討を行う。

（現状・課題3への対応）

3. 上記以外の区間については、植栽の撤去や間引きなど、植栽内容の全般的な見直しを行い、その後の維持管理の効率化を図る。

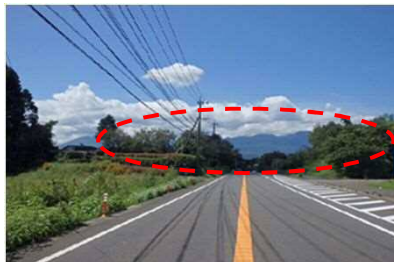
（整備・維持管理方針に基づく対応の例）

1. の対応例（国道268号）



植替えを行う

2. の対応例（国道268号）



除草や伐開を行う

3. の対応例（国道268号）



現状と同水準の維持管理を行う

3. の対応例（国道268号）



撤去や間引きを行う

3. の対応例（国道268号）



植栽帯を撤去し歩道にする

3. の対応例（国道268号）



寄植を撤去し、現状と同水準の維持管理を行う

○推進路線個別表

(1/5)

番号	14	路線名	国道223号、県道小林えびの高原牧園線、 県道えびの高原小田線
----	----	-----	------------------------------------

路線概要

<国道223号、県道小林えびの高原牧園線、県道えびの高原小田線>

各路線とも、霧島の国立公園へアクセスする観光ルートとしての役割が大きいが、区間内に点在する集落の生活道路としても機能している。

本県有数の観光地への接続路線であることを意識した沿道修景が行われてきた区間であるが、一部では周辺環境の変化や樹木の生長に伴う課題等も生じてきており、現状を踏まえた見直しが必要な区間である。

指定地区等位置図



国道223号
植栽状況



県道小林えびの高原牧園線
植栽状況



県道えびの高原小田線
植栽状況

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| <国道223号>,<小林えびの高原牧園線> | <小林えびの高原小田線> |
| ・除草 : 年2回 | ・除草 : 年3回 |
| ・寄植剪定・施肥・防除 : 年2回 | ・寄植剪定・施肥・防除 : 年2回 |
| ・樹木剪定・施肥・防除 : 年1回 | ・樹木剪定・施肥・防除 : 年1回 |

番号	14	路線名	国道223号、県道小林えびの高原牧園線、 県道えびの高原小田線
----	----	-----	------------------------------------

指定地区等一覧

・沿道修景植栽地区

路線名	番号	名称	位置	修景用植物の種類 【指定時】	植栽延長(m) 【指定時】			植栽延長(m) 【現況】			指定 年月
					左側	右側	合計	左側	右側	合計	
(主) 小林えびの高原牧園線	①	孝ノ子 吉村	小林市大字南西方孝ノ子地内 // 字吉村地内	いば・ヨウ・ツツ ほか	140	60	200	140	60	200	S61.2

・沿道自然景観地区

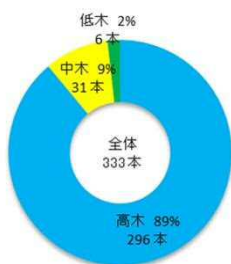
なし

・沿道修景指定樹木

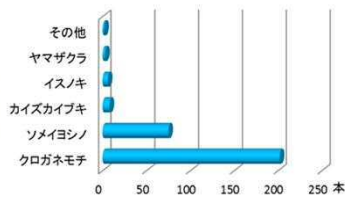
路線名	番号	樹種	位置	本数	指定 要旨	指定 年月
(主) 小林えびの高原牧園線	②	ヤマザクラ	小林市南町地内	1	樹姿美 古木	S50.6
(主) 小林えびの高原牧園線	③	ヤマザクラ	小林市南町地内	1	樹姿美 古木	S50.6

植栽花木現況一覧

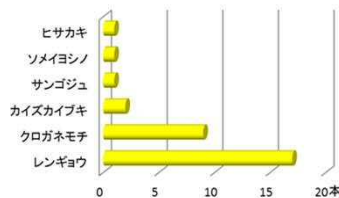
国道223号 樹木



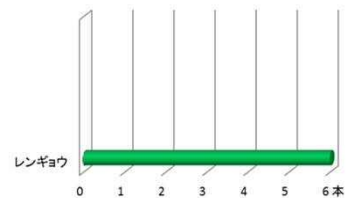
高木植栽



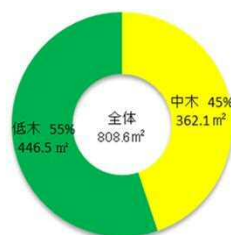
中木植栽



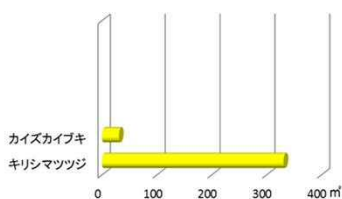
低木植栽



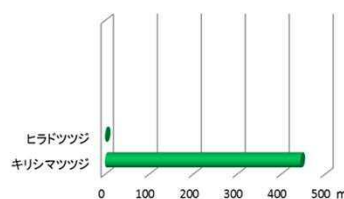
国道223号 寄植



寄植中木



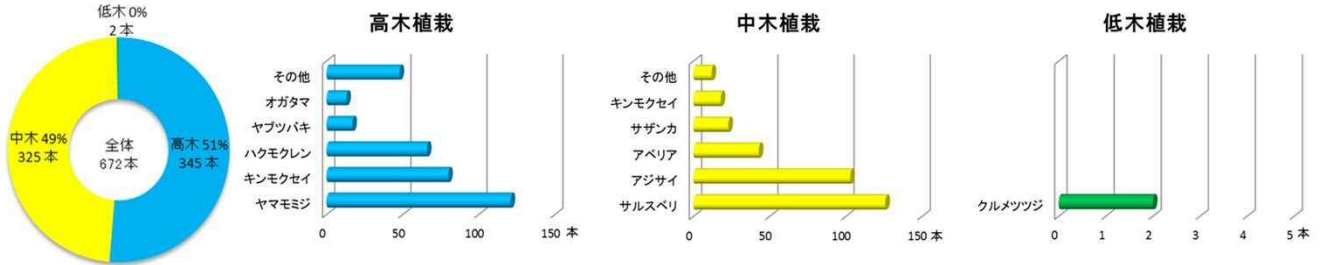
寄植低木



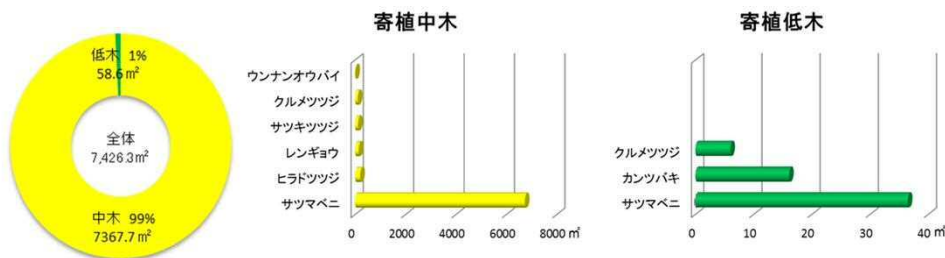
番号	14	路線名	国道223号、県道小林えびの高原牧園線、 県道えびの高原小田線
----	----	-----	------------------------------------

植栽花木現況一覧

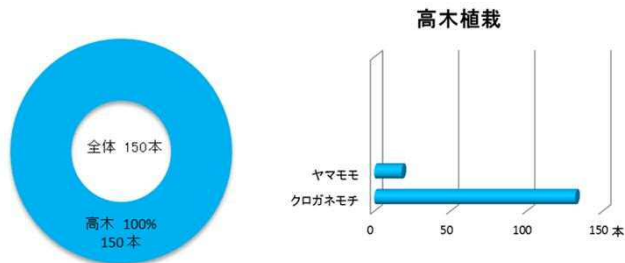
小林えびの高原牧園線 樹木



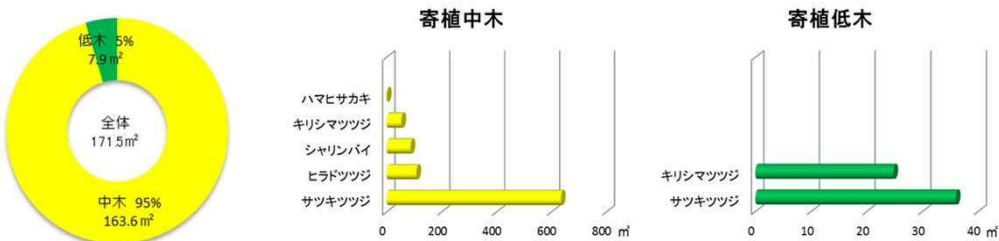
小林えびの高原牧園線 寄植



えびの高原小田線 樹木



えびの高原小田線 寄植



番号	14	路線名	国道223号、県道小林えびの高原牧園線、 県道えびの高原小田線
----	----	-----	------------------------------------

修景コンセプト	<p>「霧島連山を臨む雄大な自然風景と、地域の営みの風景と調和した道路修景」</p> <p>霧島連山を近傍、遠望に望む路線として、雄大な自然の風景と、地域の営みが創り出す暮らしの風景をそれぞれ有する区間となっている。</p> <p>そこで、これらの固有の風景の道路からの眺望を確保し、<u>通行する自動車の目線から沿道の風景を楽しむことのできる区間</u>として、整備と維持管理を行う。</p>
---------	--

路線における現状・課題	<p>(現状・課題1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各路線とも、霧島錦江湾国立公園へと誘う観光ルートとして機能しているとともに、区間の大部分が国立公園内に位置している。 <p>(現状・課題2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 区間全体を通して霧島連山の風景を眺望できる路線であるが、植栽樹木の成長や自然の草木の繁茂により、眺望が阻害されている。 <p>(現状・課題3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道223号の県境部は、鹿児島県との交通の玄関口として機能しているとともに、周辺には「高千穂牧場」等の観光地も存在している。 <p>(現状・課題4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 植栽樹木の高木化や老木化により、樹姿の悪化、倒木や落枝の懸念、維持管理上の支障等が生じている。 寄植の生長や繁茂により、交通安全上の懸念を生じる恐れがある。
-------------	---

番号	14	路線名	国道223号、県道小林えびの高原牧園線、 県道えびの高原小田線
----	----	-----	------------------------------------

整備・維持管理方針

(現状・課題1への対応)

- 霧島の国立公園周辺の区間については、公園の自然景観との調和を図りながら、除草や樹木の剪定等を徹底し、美しい景観を保つ維持管理を行う。

(現状・課題2への対応)

- 霧島連山の風景が眺望できる開放的な区間については、その眺望を妨げないための除草や伐開、及び植栽の撤去を行い、その後は美しい眺望を保つ維持管理を行う。

(現状・課題3への対応)

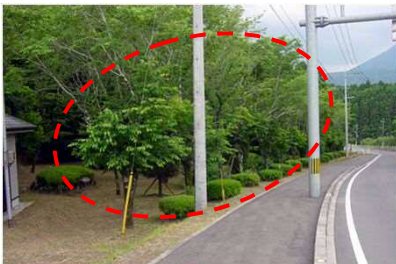
- 国道223号の県境部周辺については、交通の玄関口及び観光地周辺の道路として、植栽地区の新設またはリニューアル整備を行い、その後は美しい景観を保つ維持管理を行う。

(現状・課題4への対応)

- 上記以外の区間については、植栽の撤去や間引きなど、植栽内容の全般的な見直しを行い、その後の維持管理の効率化を図る。

(整備・維持管理方針に基づく対応の例)

1. の対応例 (国道223号)



自然樹形での維持管理を行う

1. の対応例 (県道小林えびの高原牧園線)



自然樹形での維持管理を行う

2. の対応例 (国道223号)



撤去や間引きを行い眺望を確保する

4. の対応例 (県道小林えびの高原牧園線)



歩道部寄植を撤去する

4. の対応例 (県道えびの高原小田線)



間引きを行う

4. の対応例 (県道えびの高原小田線)



寄植を撤去し芝生等への植替えを行う

○推進路線個別表

(1/4)

番号	15	路線名	県道都城霧島公園線
----	----	-----	-----------

路線概要

＜県道都城霧島公園線＞

本路線は、都城市と霧島の国定公園周辺とを結ぶ路線であり、観光ルートとして、及び、区間内に点在する集落の生活道路としても機能している。

都城市周辺の市街地区間を抜けると、自然の緑に囲まれた田園・山間部区間が主であり、周辺の自然景観と調和した沿道修景について検討する必要のある区間である。

指定地区等位置図



植栽地区（牧の原地区・
県道都城霧島公園線）



植栽地区（西岳地区・
県道都城霧島公園線）



植栽地区（西岳地区・
県道都城霧島公園線）

＜県道 都城霧島公園線＞

- ・ 除 草 : 年2回
- ・ 寄植剪定・施肥・防除 : 年1回
- ・ 樹木剪定・施肥・防除 : 年1回

○推進路線個別表

(2/4)

番号	15	路線名	県道都城霧島公園線
----	----	-----	-----------

指定地区等一覧

・沿道修景植栽地区

路線名	番号	名称	位置	修景用植物の種類【指定時】	植栽延長(m)【指定時】			植栽延長(m)【現況】			指定年月
					左側	右側	合計	左側	右側	合計	
(主) 都城霧島公園線	①	牧の原	都城市庄内町大字牧の原地内	サザンカ・サトウハチロー・ツツジ	400	550	950	400	550	950	S50.6
(主) 都城霧島公園線	②	都城霧島公園線	都城市庄内町大字湯谷地内 // 西岳町大字東折田地内	サザンカ・サルスベリ・クワナツキ ・ツツジ・ジャリソバ イ ほか	808	66	874	808	66	874	S50.6

・沿道自然景観地区

なし

・沿道修景指定樹木

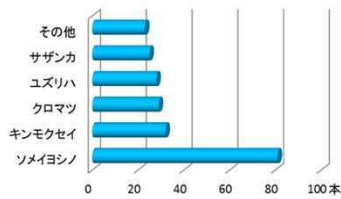
なし

植栽花木現況一覧

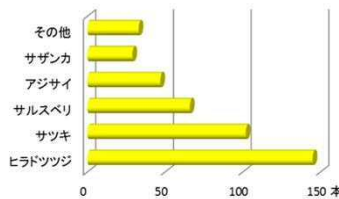
都城霧島公園線 樹木



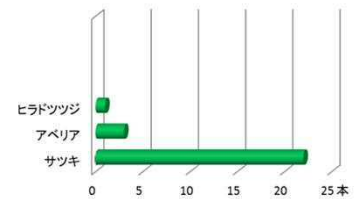
高木植栽



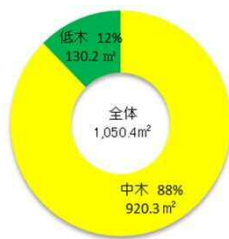
中木植栽



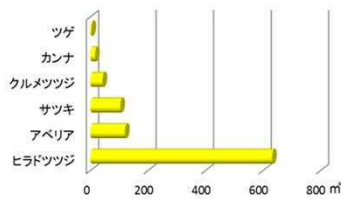
低木植栽



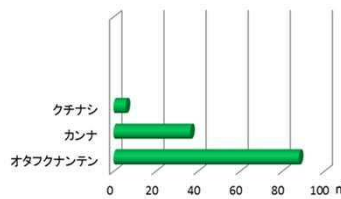
都城霧島公園線 寄植



寄植中木



寄植低木



番号	15	路線名	県道都城霧島公園線
修景コンセプト		<p>「霧島連山を臨む雄大な自然風景と、地域の営みの風景と調和した道路修景」</p> <p>霧島連山を近傍、遠望に望む路線として、雄大な自然の風景と、地域の営みが創り出す暮らしの風景をそれぞれ有する区間となっている。</p> <p>そこで、これらの固有の風景の道路からの眺望を確保し、<u>通行する自動車の目線から沿道の風景を楽しむことのできる区間</u>として、整備と維持管理を行う。</p>	
路線における現状・課題			
<p>(現状・課題1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 霧島錦江湾国立公園へと誘う観光ルートとして機能しているとともに、区間の一部が国立公園内に位置しているほか、沿線には「関之尾滝」等の観光地も存在している。 			
<p>(現状・課題2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 区間全体を通して霧島連山の風景を眺望できる路線であるが、植栽樹木の成長や自然の草木の繁茂により、眺望が阻害されている。 			
<p>(現状・課題3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 植栽樹木の高木化や老木化により、樹姿の悪化、倒木や落枝の懸念、維持管理上の支障等が生じている。 寄植の生長や繁茂により、交通安全上の懸念を生じる恐れがある。 			

番号	15	路線名	県道都城霧島公園線
----	----	-----	-----------

整備・維持管理方針

(現状・課題1への対応)

- 霧島の国立公園及び沿線の観光地周辺の区間については、周辺の自然景観及び観光地のイメージとの調和を図りながら、除草や樹木の剪定等、美しい景観を保つ維持管理を行う。

(現状・課題2への対応)

- 霧島連山の風景が眺望できる開放的な区間については、その眺望を妨げないための除草や伐開、及び植栽の撤去を行い、その後は美しい眺望を保つ維持管理を行う。

(現状・課題3への対応)

- 上記以外の区間については、植栽の撤去や間引きなど、植栽内容の全般的な見直しを行い、その後の維持管理の効率化を図る。

(整備・維持管理方針に基づく対応の例)

3. の対応例 (県道都城霧島公園線)



撤去や間引き、切戻しを行う

3. の対応例 (県道都城霧島公園線)



現状と同水準の維持管理を行う

3. の対応例 (県道都城霧島公園線)



撤去や間引きを行う

3. の対応例 (県道都城霧島公園線)



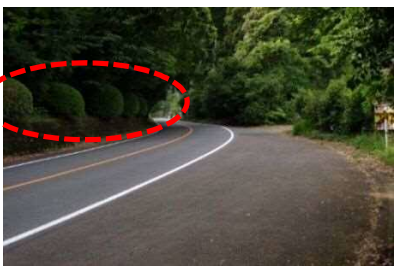
撤去や間引きを行う

3. の対応例 (県道都城霧島公園線)



撤去や間引きを行う

3. の対応例 (県道都城霧島公園線)



撤去や間引きを行う

○推進路線個別表

(1/4)

番号	16	路線名	県道宮崎須木線
----	----	-----	---------

路線概要

＜県道宮崎須木線＞

宮崎市と綾町を結ぶ、地域の暮らしと物流を支える主要路線であるとともに、宮崎の中心市街地と、ユネスコエコパークにも登録された県内有数の観光地である綾地区とを結ぶ観光ルートとしても機能している。

日本最大級の照葉樹林が広がる豊かな山々へと続く区間であり、現在でも多くの観光客が利用しているが、現在国富町に建設中の東九州自動車道スマートIC開設後は、さらなる利用者の増加が予想される。

指定地区等位置図



県道宮崎須木線 植栽状況 (宮崎市内)



県道宮崎須木線 植栽状況 (綾町内)



県道宮崎須木線 植栽状況 (綾町内)

＜県道 宮崎須木線＞

- ・ 除 草 : 年2回
- ・ 寄植剪定・施肥・防除 : 年1~2回
- ・ 樹木剪定・施肥・防除 : 年1回

○推進路線個別表

(2/4)

番号	16	路線名	県道宮崎須木線
----	----	-----	---------

指定地区等一覧	
---------	--

・沿道修景植栽地区

なし

・沿道自然景観地区

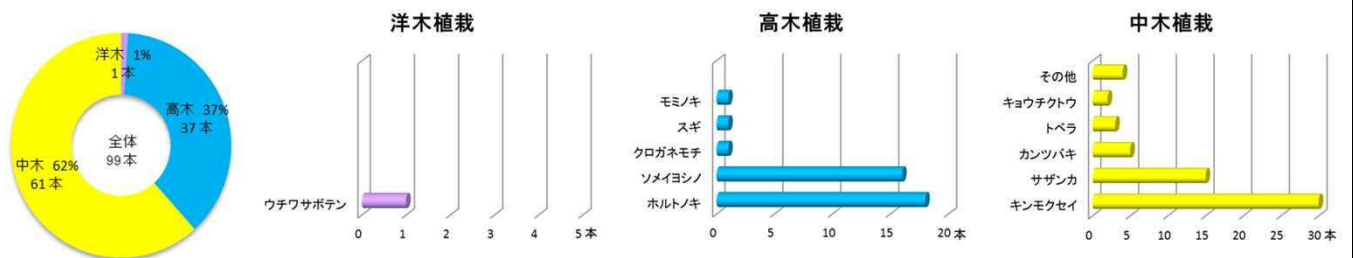
なし

・沿道修景指定樹木

なし

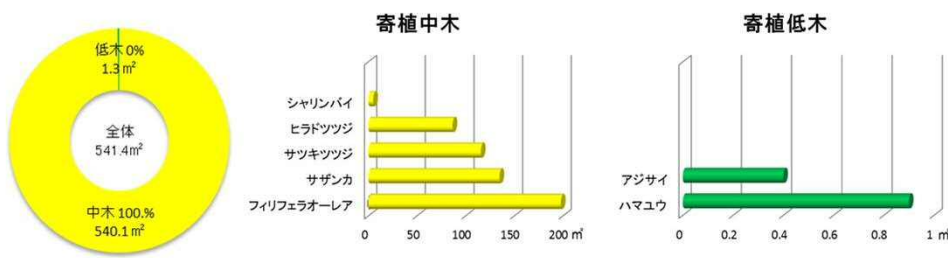
植栽花木現況一覧

宮崎須木線 樹木



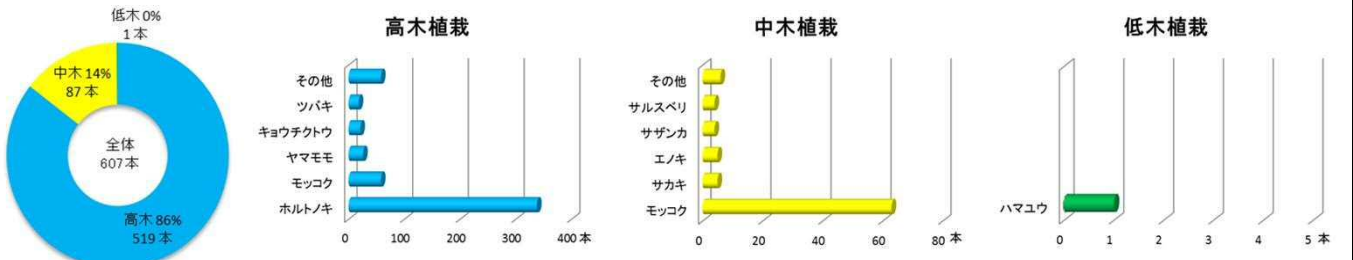
(宮崎市)

宮崎須木線 寄植



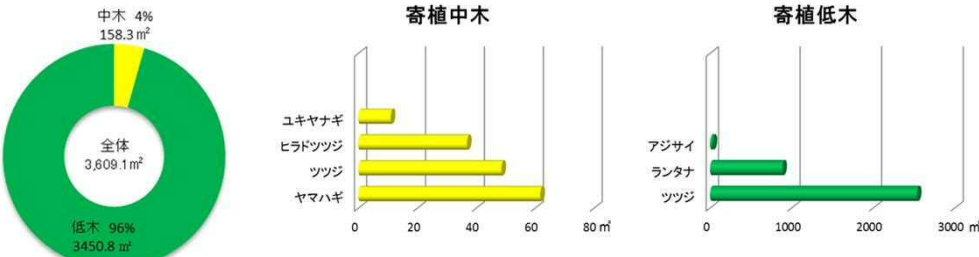
(宮崎市)

宮崎須木線 樹木



(国富町～綾町)

宮崎須木線 寄植



(国富町～綾町)

番号	16	路線名	県道宮崎須木線
修景コンセプト		<p>「照葉樹林の深い緑色に囲まれた、豊かな自然と共生する地域の風土と歴史に調和した道路修景」</p> <p>ユネスコエコパークに登録された「綾地域」の深い照葉樹林へ誘う観光ルートとして、及び、宮崎市と綾町を結ぶ地域の主要路線として機能している。</p> <p>そこで、観光客に向けて、<u>自然との共生を目指す綾の地域づくりのイメージと調和した修景を行う区間</u>として、及び、<u>市街地において通行する自動車及び歩行者に向けた花と緑を確保する区間</u>として、整備と維持管理を行う。</p>	
路線における現状・課題		<p>(現状・課題1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮崎の中心市街地と綾町を結ぶ主要路線であるとともに、綾地域のユネスコエコパークへとつながる観光ルートとしても機能し、毎年多くの観光客が利用している。 東九州自動車道の国富スマートICの開設後は、さらなる観光客の利用の増加が見込まれる。 <p>(現状・課題2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 植栽樹木の高木化や老木化により、樹姿の悪化、倒木や落枝の懸念、維持管理上の支障等が生じている。 寄植の生長や繁茂により、交通安全上の懸念を生じる恐れがある。 	

番号	16	路線名	県道宮崎須木線
----	----	-----	---------

整備・維持管理方針

(現状・課題1への対応)

- 綾町内の区間については、綾地域のユネスコエコパークへつながる道として、照葉樹林のイメージとの調和を図りながら、植栽地区の新設またはリニューアル整備を行い、その後は美しい景観を保つ維持管理を行う。

(現状・課題2への対応)

- 上記以外の区間については、市街地における花と緑の保護を意識しながら、植栽の撤去や間引きなど、植栽内容の全般的な見直しを行い、その後の維持管理の効率化を図る。

(整備・維持管理方針に基づく対応の例)

1. の対応例 (県道宮崎須木線)



現状と同水準の維持管理を行う

1. の対応例 (県道宮崎須木線)



間引きや植替えを行う

1. の対応例 (県道宮崎須木線)



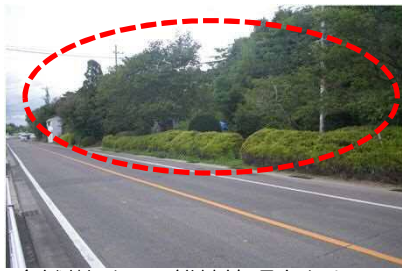
現状と同水準の維持管理を行う

2. の対応例 (県道宮崎須木線)



現状と同水準の維持管理を行う

2. の対応例 (県道宮崎須木線)



自然樹形での維持管理を行う

2. の対応例 (県道宮崎須木線)



間引きや植替えを行う

○推進路線個別表

(1/2)

番号	17	路線名	県道延岡インター線
----	----	-----	-----------

路線概要	<p><県道延岡インター線></p> <p>東九州自動車道延岡IC及び北方延岡道路への接続路線として、道路交通上の重要な路線であるとともに、延岡市及び県北沿岸地域を訪れる観光客の玄関口としても重要な役割を果たしている。</p>
------	---

指定地区等位置図



県道延岡インター線
植栽状況



県道延岡インター線
修景状況

<県道 延岡インター線>

- ・ 除 草 : 年2回

指定地区等一覧

・ 沿道修景植栽地区
なし

・ 沿道自然景観地区
なし

・ 沿道修景指定樹木
なし

※沿線及び並走する五ヶ瀬川の堤防に沿って、地域が主体となってカワツザクラやナノハナ等の植栽活動が行われている。

番号

17

路線名

県道延岡インター線

修景コンセプト

「延岡の玄関口として、IC周辺の風景や地域の特徴と調和した道路修景」

延岡や県北沿岸部を訪れる観光客にとって、及び、延岡から東九州自動車道や北方延岡道路を利用する自動車交通にとって、玄関口となる路線である。

そこで、IC周辺の自然景観や土地利用状況、及び周辺道路の植栽状況等を踏まえた上で、地域の特色ある修景の取組等も活かしながら、地域の玄関口としての個性が表れるような修景を行う区間、及び、IC周辺の風景を通行する自動車の目線から楽しむことのできる区間として、整備と維持管理を行う。

路線における現状・課題

(現状・課題1)

- ・東九州自動車道の開通により、延岡の玄関口として機能している。
- ・区間全体を通して、並走する五ヶ瀬川の河川空間や周辺の田園風景を眺望できる路線だが、自然の草木の繁茂により、眺望が阻害されている。
- ・地域によるサクラやナノハナ等による特徴的な植栽活動、ボランティアによる除草活動等が積極的に行われている。

整備・維持管理方針

(現状・課題1への対応)

1. 延岡の玄関口として、周辺景観や土地利用状況、並走する五ヶ瀬川の河川空間との調和を図るとともに、地域における特徴ある取組等を活かし協働を推進しながら、除草や剪定等を徹底し、美しい景観と眺望を保つ維持管理を行う。

(整備・維持管理方針に基づく対応の例)

1. の対応例 (県道延岡インター線)



周辺景観や地域活動と調和した整備と維持管理を行う

1. の対応例 (県道延岡インター線)



周辺景観や地域活動と調和した整備と維持管理を行う

1. の対応例 (県道延岡インター線)



自然植物の伐開による眺望の確保を行う

○推進路線個別表

(1/2)

番号	18	路線名	国道327号日向バイパス
----	----	-----	--------------

路線概要

<国道327号日向バイパス>

東九州自動車道日向ICへの接続路線として、道路交通上の重要な路線であるとともに、日向市及び県北地域、入郷地域を訪れる観光客の玄関口として、また、重要港湾である細島港を中心とした本県物流の要としても重要な役割を果たしている。

指定地区等位置図



国道327号日向バイパス
植栽状況



国道327号日向バイパス
植栽状況

<国道327号日向バイパス>

- ・除 草 : 年2回
- ・寄植剪定・施肥・防除 : 年2回
- ・樹木剪定・施肥・防除 : 年1回

指定地区等一覧

・沿道修景植栽地区
なし

・沿道自然景観地区
なし

・沿道修景指定樹木
なし

- ・ワシントンニアパームやフェニックス、寄植等、沿岸部に観光地や名所が集中する日向市の特徴を意識した、亜熱帯性植物が中心の修景を行っている。
- ・植栽する花木の種類は、地元の意見も伺いながら選定している。

番号

18

路線名

国道327号日向バイパス

修景コンセプト

「日向の玄関口として、IC周辺の風景や地域の特徴と調和した道路修景」

日向や県北沿岸部、入郷地区を訪れる観光客にとっての玄関口として、及び細島港を中心とした県内の物流の要として機能している路線である。

そこで、IC周辺の自然景観や土地利用状況、及び周辺道路の植栽状況等を踏まえた上で、地域の特色ある修景の取組等も活かしながら、地域の玄関口としての個性が表れるような修景を行う区間として、連絡する国道10号や県道日知屋財光寺線における修景との調和を図りながら、整備と維持管理を行う。

路線における現状・課題

(現状・課題1)

- ・東九州自動車道の開通により、日向の玄関口として機能している。
- ・大型クルーズ船も寄港する、重要港湾の細島港へ連絡する路線の一部としても機能しており、物流と観光の両面から重要度の高い路線である。

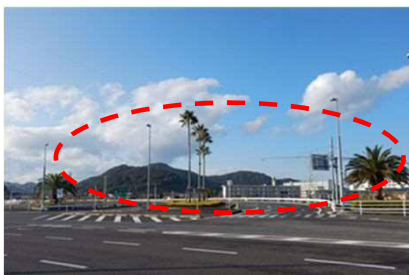
整備・維持管理方針

(現状・課題1への対応)

1. 日向の玄関口として、周辺景観や土地利用状況との調和を図るとともに、連絡する国道10号や県道日知屋財光寺線の修景との連続性を意識しながら、除草や剪定等を徹底し、美しい景観を保つ維持管理を行う。

(整備・維持管理方針に基づく対応の例)

1. の対応例 (国道327号日向バイパス)



周辺景観や連絡する路線の修景と調和した整備と維持管理を行う

1. の対応例 (国道327号日向バイパス)



周辺景観や連絡する路線の修景と調和した整備と維持管理を行う

○推進路線個別表

(1/3)

番号	19	路線名	ひむか神話街道（高千穂町～西米良村）
----	----	-----	--------------------

路線概要

<ひむか神話街道>

県内の国道、県道や林道等を組み合わせた、県北の高千穂町から、高千穂峰の麓の高原町へと至る、神話や伝承の地を巡る総延長約300kmの広域観光ルートである。

市街地、海沿い、山間部の多様な沿道環境を持つが、県北～県央のエリアでは、その大部分を山間部区間が占めている。

指定地区等位置図



(構成路線) ※緑：エリア内ひむか神話街道、赤：エリア内推進路線
 県道緒方高千穂線、国道218号、国道265号、国道388号、
 県道西都南郷線、国道219号、一ツ葉有料道路、国道220号、
 国道222号、県道日南高岡線、国道269号、三股高城線、
 国道10号、県道都城高城線、県道都城野尻線、国道223号

○推進路線個別表

(2/3)

番号	19	路線名	ひむか神話街道（西都市～高原町）
----	----	-----	------------------

路線概要

＜ひむか神話街道＞

県内の国道、県道や林道等を組み合わせた、県北の高千穂町から、高千穂峰の麓の高原町へと至る、神話や伝承の地を巡る総延長約300kmの広域観光ルートである。

市街地、海沿い、山間部の多様な沿道環境を持つが、県央から県南、県西のエリアではその大部分が沿道修景美化推進路線と重複している。

指定地区等位置図



(構成路線) ※緑：エリア内ひむか神話街道、赤：エリア内推進路線

- 県道緒方高千穂線、国道218号、国道265号、国道388号、
- 県道西都南郷線、国道219号、県道宮崎インター佐土原線、国道220号、
- 国道222号、県道日南高岡線、国道269号、三股高城線、
- 国道10号、県道都城高城線、県道都城野尻線、国道223号

番号

19

路線名

ひむか神話街道

修景コンセプト

「自然豊かな山間部区間における、背後の緑に映える局所的な道路修景」

ひむか神話街道を構成する路線のうち、沿道修景美化推進路線と重複している路線については、それぞれの修景コンセプトと整備・維持管理方針に基づき対応し、それ以外の路線については、主に山間部の区間において季節の花木を用いた局所的な修景を行う。

路線における現状・課題

(現状・課題1)

- ・ひむか神話街道を構成する路線の多くは、沿道修景美化推進路線と重複している。
- ・推進路線以外の路線については、その多くが、市町村間を結ぶ地域の生活路線や、自然豊かな山間部を通過する区間となっている。

整備・維持管理方針

(現状・課題1への対応)

1. 山間部における周辺の自然環境が豊かな区間については、周辺景観との調和を図りつつ、サクラやモミジ等の花木や紅葉樹等を用いた、背後の緑に映える局所的な修景を行う。
2. 沿道修景美化推進路線と重複する路線については、それぞれの修景コンセプトと整備・維持管理方針に基づき対応する。

(整備・維持管理方針に基づく対応の例)

1. の対応例



他の路線との接続や分岐、駐車帯など、路線におけるチェックポイントとなる箇所等において、沿道へのサクラや紅葉樹の植栽による局所的な修景を行う